

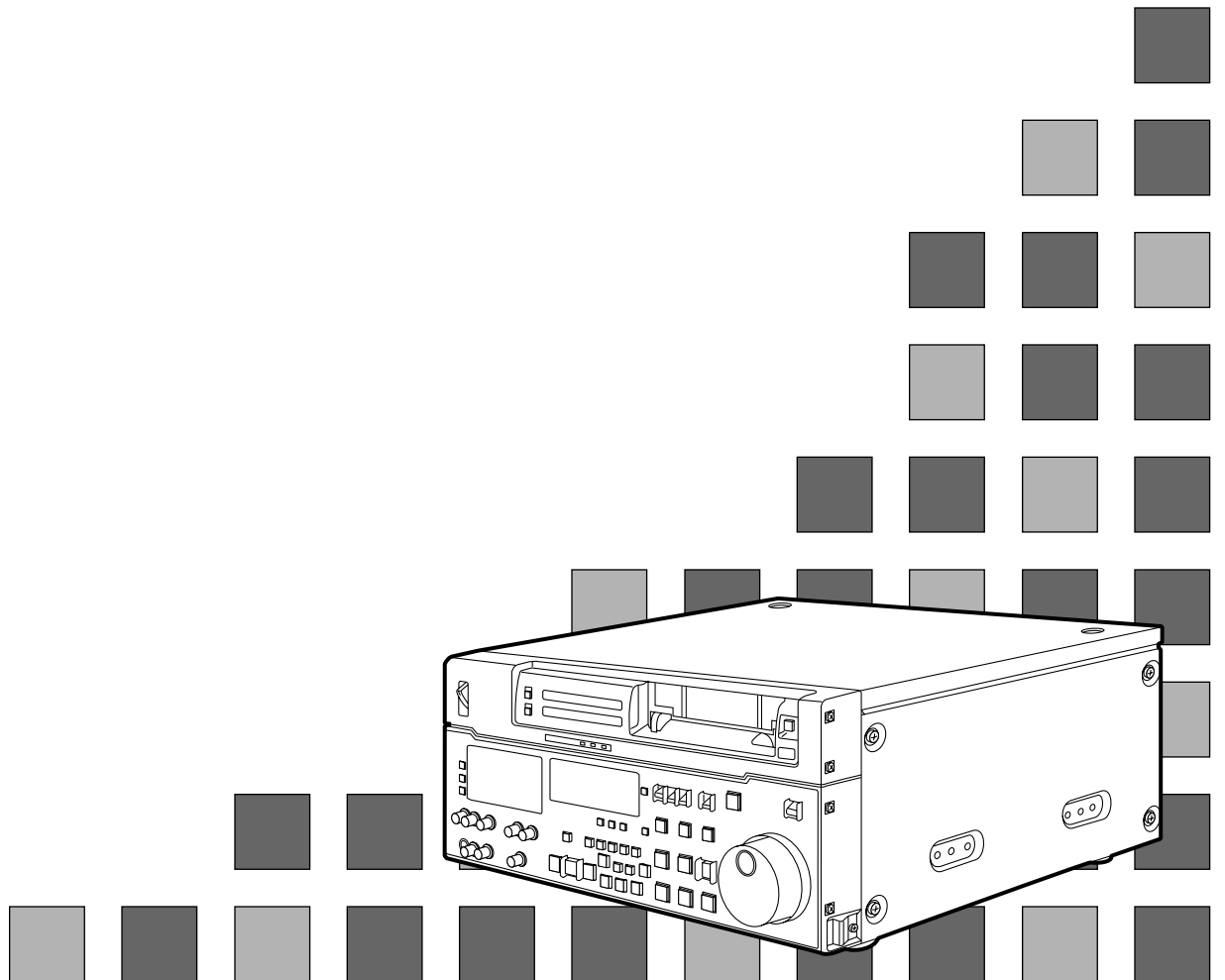
Panasonic

DVCPRO

Digital Video Cassette Recorder

AJ-D850A

取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使うって上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

目 次

安全上のご注意	4
概要・特長	8
各部の名称と機能	
• フロントパネル	10
• フロントパネル上部	11
• フロントパネル中央	12
• フロントパネル下部	18
• コネクタ部	20
接続	
• 1台での接続	23
• 2台での接続例	24
• 編集コントローラとの接続例	25
• ビデオ出力信号（エンコーダー出力）の調整のための接続	26
テープ	27
電源投入/カセット挿入	28
STOP/STANDBYモード	29
記録	30
再生	31
ジョグ/シャトル	32
手動編集	33
プリロール	34
自動編集（デッキ対デッキ）	35
• スイッチの設定と調整	36
• 編集モードの選択	37
• 編集点の登録	38
• 編集点の確認	39
• 編集点の訂正	40
• プレビュー	41
• 自動編集の実行	42
• レビュー	43
スプリット編集	44
オーディオスプリット編集	45
ヴォイスオーバー（内蔵）	47
オーディオクロスチャンネル編集（内蔵）	50

保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権（録画テープの取扱い）

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Vブランキングデータの記録・再生	52
ビデオ出力信号（エンコーダー出力）の調整	53
セットアップ（初期設定）	54
セットアップメニュー	55
• SYSTEMメニュー	59
• USERメニュー	61
• BASIC	61
• OPERATION	63
• INTERFACE	66
• EDIT	67
• TAPE PROTECT	71
• TIME CODE	72
• VIDEO	74
• AUDIO	76
• V BLANK	79
• MENU	82
タイムコード/ユーザービットについて	83
内部/外部タイムコードの記録	84
タイムコード/ユーザービットの再生	85
スーパーインポーズ画面	86
サーボリファレンス	87
音声Vフェード機能	89
ラックマウント	90
コネクタの信号	91
ビデオヘッドクリーニング	93
結露	93
エラーメッセージ	94
エラーメッセージ（AUTO OFF ランプ点灯）	97
RS-232Cインターフェース	99
回路板	106
定格	107

本機をご使用になる前に、付属品が入っていることをお確かめください。

電源コード 1pc.

オプション



- コンポーネントシリアルインターフェースボード AJ-YA750P
- カセットアダプタ AJ-CS750P
- ラックマウントアダプタ AJ-MA75P
- オーディオメモリーユニット AJ-YA752
- SDTI/SDIボード AJ-YAC850P

安全上のご注意




必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。




	警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について

警告

<p>不安定な場所に置かない！</p>  <p>落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード上に重い物を乗せない！</p>  <p>本機の下敷にならないよう注意してください。</p> <p>禁止</p> <p>コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。</p>	<p>水場に設置しない！</p>  <p>火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>
--	---	--

安全上のご注意

必ずお守りください。

異常時の処理について

警告

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電をおこすおそれがあります。

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電をおこすおそれがあります。

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると感電・事故をおこすおそれがあります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

使用方法について

本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！



禁止

こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



禁止

火災・感電の原因となります。

本機を改造しない！



分解禁止

火災・感電の原因となります。

水場で使用しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

本機の裏フタ・キャビネット・カバー等をはずさない！



分解禁止

感電の原因となります。
点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

機器がぬれたり、水が入らないようにする！






禁止

火災・感電をおこすおそれがあります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。









警告

使用方法について

<p>電源コードを</p> <ul style="list-style-type: none">● 加工しない!● 傷つけない!● 無理に曲げない!● ねじらない!● 引っ張らない!● 加熱しない! <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は使用しない!</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>指定のカバー以外ははずさない!</p> <p> 感電の原因となります。点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</p> <p>分解禁止</p>
--	--	--

注意

設置について

<p>電源コードを熱器具に近づけない!</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気が当たる場所に置かない!</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない!</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>ぬれた手でプラグを抜き差ししない!</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>禁止</p>	<p>本機の通風孔をふさがない!</p> <p> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>次のような使い方はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 本機を風通しの悪い所に押し込む。● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
<p>電源コードや接続コードを下にたたらさない!</p> <p> ふれたり、引っかかると、落ちてけがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>持ち上げや移動には十分注意する!</p> <p> 落としたりすると、けがの原因となります。10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなど慎重に取り扱ってください。</p> <p>禁止</p>	

安全上のご注意

必ずお守りください。

注意

お手入れについて

お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

外装部品のお手入れの際、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しない！



禁止

デッキ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因となることがあります。

使用方法について

本機の上に重い物を置かない！



禁止

バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。

本機に乗らない！



禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。

カセットテープ挿入口に手をはさまれないように注意する！



指に注意

けがの原因となります。

長時間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●ビデオカセットは、取り出しておいてください。

概 要

本機は、1/4インチ幅のテープを採用したデジタルVTRです。
デジタル圧縮技術を採用しておりますので、従来のアナログ方式と比べて、ダビング時の画質・音質の劣化が大幅に少なくなります。
また、本機は4Uサイズの小型・軽量設計になっておりますので持ち運びにも負担が軽く、19インチのラックに設置する時にも楽に行えます。
機器のセットアップの各設定はモニターテレビの画面メニューを見ながら対話方式で行い、編集機能は、アSEMBル・インサート両編集が行えます。

特長

小型・軽量

本機は4UサイズのデジタルVTRです。ラックマウンウトアダプタ（オプション、AJ-MA75P）を使用すれば19インチラックにも手軽に取りつけることができます。

最大184分記録

使用するカセットテープはMカセット（最大66分用）とLカセット（最大184分用）です。テープ幅は1/4インチのコンパクト設計になっています。

民生機器との互換

民生機器のデジタルカメラで撮影した民生用カセットテープはカセットアダプタ（オプション、AJ-CS750P）を使用すると、本機で再生できます。

< ノート >

- 民生用カセットテープのスロー再生はできません。
- 民生のLPモードで記録されたテープは再生できません。

デジタルスローモーション/ダイヤルジョグ

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、以下の速度のスロー再生画像は、クリアな再生が行えます。

-0.43/-0.3/-0.2/-0.1/-0.03/0/+0.03/+0.1/+0.2/+0.3/+0.5/+0.75

< ノート >

スローモーションのスピードを変えた時には多少のノイズが発生することがあります。

スロー/ジョグ時のデジタルオーディオ出力

スロー/ジョグ時にもなめらかな音声再生でき、音声により編集点の検索・決定が容易になりました。

ダイヤルシャトル

シャトル操作は、正・逆方向に最大60倍速までカラー画像で再生が可能。

20秒のオーディオメモリー内蔵

映像を再生しながら音声の記録（ヴォイスオーバー）を時間遅れなく行うことができます。外部の音声ミキサーを組み合わせると、オーディオクロスチャンネル編集も可能です。

オーディオメモリーユニット（AJ-YA752）対応

AJ-YA752（別売品）を接続すると、最大34分30秒（標準5分45秒）のヴォイスオーバーが可能となります。

特長（つづき）

Vブランキングデータの記録・再生

クローズドキャプション、VITCに加え、Vブランキング区間の文字情報を、1フレーム当たり最大26ライン分の記録・再生ができます。

<ノート>

記録可能なライン数には一部制限があります。

タイムコード

本機はTCG（タイムコードジェネレータ）/TCR（タイムコードリーダー）を内蔵しています。タイムコードは内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号のVITCを、LTCとして本機に記録することが可能です。

多機能な入出力インターフェース

- アナログ入出力
コンポーネント（Y、P_B、P_R）とコンポジットの入出力端子を装備しています。
- シリアル・デジタル入出力
コンポーネントシリアルインターフェースボード（オプション、AJ-YA750P）を使用すると、シリアルデジタル（SMPTE 259M-C、272M）のデジタルコンポーネントインターフェースが行えます。また、AJ-YAC850P（オプション）を使用すると、SDTIでの転送が行えます。（SMPTE305M）
- AES/EBUオーディオ入出力
デジタルオーディオ入出力端子を装備しています。
- 9ピン（RS-422A）/（RS-232C）リモート
標準的な9ピンシリアル（RS-422A）の他、RS-232C、25ピンパラレルの各端子を備えています。
RS-422Aは本機と別のVTRをループ接続すれば並列運転ができます。

2チャンネルの高音質デジタルオーディオ

2チャンネルは独立して編集ができるほか、チャンネルミックスが可能。アナログキュートラックも1チャンネル装備しています。

自動編集機能

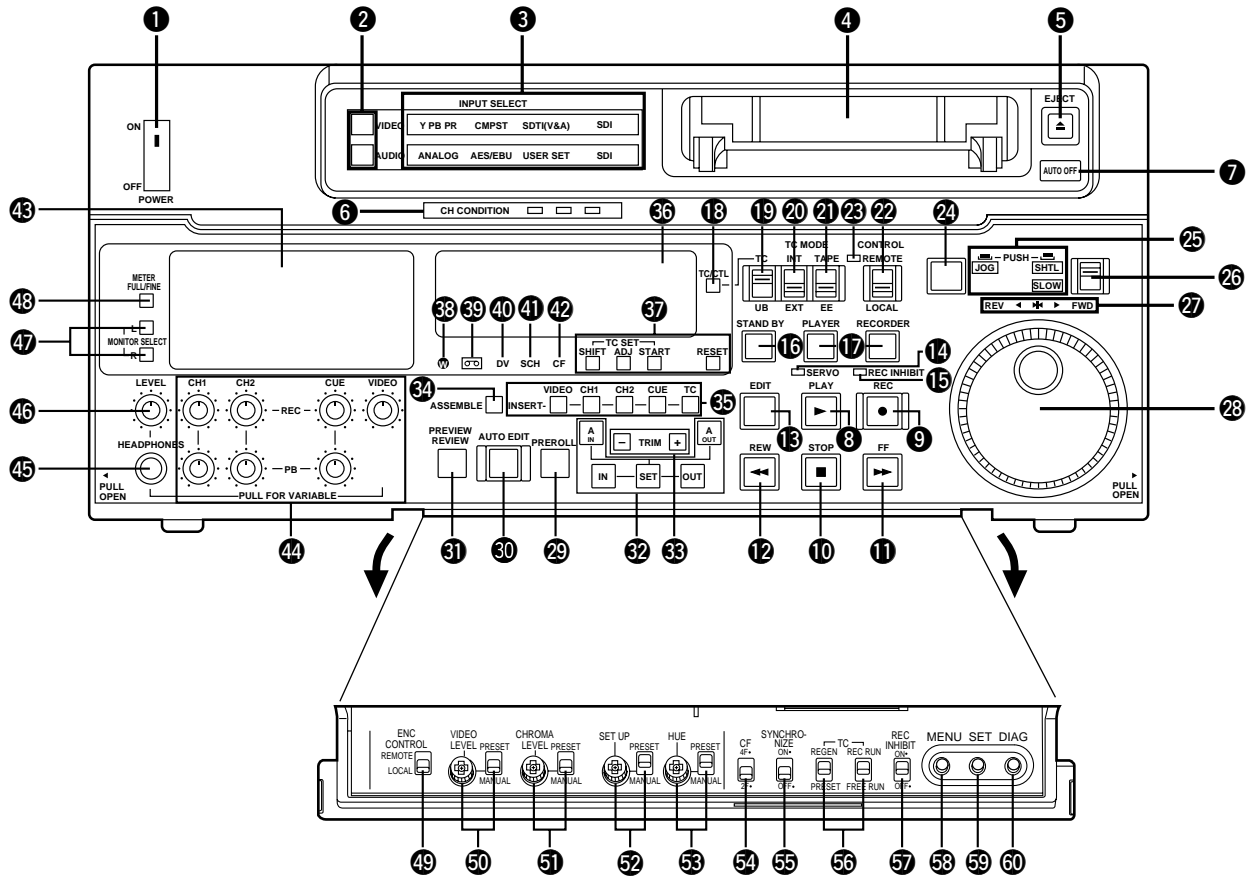
アセンブル、インサートの両編集が行えます。

メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機のディスプレイまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

各部の名称と機能

フロントパネル



フロントパネル上部

- ① POWER スイッチ
ON側を押すと電源が入り、オーディオレベルメータ、ビデオレベルメータ、カウンター表示部、INPUT SELECT表示部が点灯します。
- ② INPUT SELECTスイッチ
ビデオとオーディオの入力信号を切換えます。
<ビデオ>
VIDEOボタンを押すごとに、入力ビデオ信号が、Y/P_B/P_R、COMPOSITE、SDTI (V&A)、SDI、Y/P_B/P_R、・・・の順に切換わり、選択されます。SDTI (V&A) を選択すると、ビデオとオーディオの両方がSDTIからの入力になります。
<オーディオ>
AUDIOボタンを押すごとに、入力オーディオ信号が、ANALOG、AES/EBU、USER SET、SDI、ANALOG、・・・の順に切換わり、選択されます。USER SETは、PCMオーディオ信号のCH1/CH2に記録する入力信号を個別に選択する機能であり、セットアップメニューと併用して使用します。例えば、INPUT SELECTでUSER SETを選択し、セットアップメニューNo.710 (CH1 IN SEL)、No.711 (CH2 IN SEL)、No.712 (DIGI IN SEL) でCH1=ANALOG、CH2=DIGIを選択すれば、テープ上に記録されるPCMオーディオ信号CH1にはアナログ入力信号が、CH2にはAES/EBUデジタル信号が記録されます。ただし、ビデオ入力でSDTIが選択された時は、オーディオ入力も強制SDTI入力になります。
- ③ INPUT SELECT表示部
選択された入力信号に対応する文字部が点灯します。アナログオーディオを除き、選択された入力信号がない場合は、点滅してお知らせします。
<ビデオ>
Y PB PR : アナログ・コンポーネント・ビデオ信号
CMPST : アナログ・コンポジット・ビデオ信号
SDTI (V&A) : 圧縮データ・シリアル・デジタル・ビデオ/オーディオ信号 (オプション)
SDI : シリアル・デジタル・ビデオ信号 (SMPTE 259M-C, 272M) (オプション)
セットアップメニューNo.601 (INT BB SIG) でBBを選択した場合は、表示部がすべて点灯します。
<オーディオ>
ANALOG : アナログ・オーディオ信号
AES/EBU : デジタル・オーディオ信号
USER SET : 記録オーディオ信号の選択
SDI : シリアル・デジタル・オーディオ信号 (SMPTE 259M-C, 272M) (オプション)
セットアップメニューNo.722 (INT SG) でONを選択した場合は、表示部が全て点灯します。
- ④ カセット挿入口
Mカセット、Lカセット、およびアダプタ付きの民生用カセット (Sカセット) の挿入口です。民生カセットは、再生のみが可能です。
- ⑤ EJECT ボタン
押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。
カウンター表示部がCTL表示の時は、表示がリセットされます。
EJECTを受けつけるとランプが点灯します。
- ⑥ チャンネルコンディション・ランプ
エラーレートの状態に応じて点灯します。(緑 アンバー 赤)
緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好な時に点灯します。
アンバー : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化した時に点灯します。
このランプが点灯しても、再生画は正常です。
赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった時に点灯します。
- ⑦ AUTO OFFランプ
本機の動作に異常が発生した時に点灯します。

各部の名称と機能

フロントパネル中央

- ⑧ PLAYボタン
押すと再生が始まります。
RECボタンと同時に押すと記録が、PLAY中にEDITボタンと同時に押すと手動編集が始まります。
手動編集中にPLAYボタンだけを押し、編集はカットアウトされ、再生モードになります。
- ⑨ RECボタン
このボタンとPLAYボタンを同時に押し、記録が始まります。
再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押し、押ししている間、E-Eモードの画像と音声信号をモニターすることができます。
ストップモード中にこのボタンを押し、E-Eモードの画像と音声をモニターできます。
STOPボタンを押し、元の画像・音声にもどります。
- ⑩ STOPボタン
押すとテープ走行が停止し、TAPE/EE切替スイッチが「TAPE」の時には静止画をモニターすることができます。
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。
ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。
本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。
- ⑪ FFボタン*
押すと、テープを早送りします。
- ⑫ REWボタン*
押すと、テープを巻き戻します。
- ⑬ EDITボタン
手動編集をする時、PLAY中にこのボタンとPLAYボタンとを同時に押し、
ストップモード中にこのボタンを押し、ASSEMBLEボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。
STOPボタンを押し、元の画像・音声にもどります。
再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押し、押ししている間、ASSEMBLEボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。
- ⑭ SERVOランプ
ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると点灯します。
- ⑮ REC INHIBITランプ
フロント下部のREC INHIBITスイッチが「ON」か、カセットが誤消去防止状態になっている時に点灯します。
この時には、記録および編集はできません。

* 早送り、巻き戻しの速度は、セットアップメニューNo.102 (FF. REW MAX) で選択ができます。

フロントパネル中央

⑩ STAND BYボタン

通常のSTOP時と同じテープテンションがかかり、ヘッドドラムが回転中はボタンが点灯してスタンバイONモードであることを示します。

スタンバイOFFモードの時は、ハーフロード・モードになります。ストップ・モード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフロードモードになります。この時、ボタンは消灯します。

また、ストップ・モードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。

スタンバイOFFモードの時にこのボタンを押すか、またはSTOPボタンを押すと、スタンバイONモードになります。

また、STOPボタン以外のボタンを押すと、押したボタンのモードになります。

スタンバイOFFモードへの移行時間はオンスクリーン上で設定できます。

⑪ PLAYER/RECORDERボタン

本機とRS-422Aシリアルインターフェースのリモコン端子（9ピン）を装備したVTRを使って編集する時、本機をレコーダとして使う場合に操作します。本機を単体で使用する時はどちらのボタンも機能しません。

PLAYERボタン：押すとランプが点灯し、本機に接続したプレーヤをリモートコントロールするようになります。本機の編集、テープ走行系のボタンはプレーヤに対して働きます。

RECORDERボタン：押すとランプが点灯し、編集テープ走行系のボタンはレコーダ（本機）に対して働くようになります。

⑫ TC/CTLスイッチ

このスイッチを押すことにより、カウンタ表示部の表示がTC CTL TC・・・と変化します。また、TC選択時には、TC/UBスイッチの選択に応じて、TCもしくはUBの値を表示します。

⑬ TC/UBスイッチ

TC/CTLスイッチがTCの時に、カウンタ表示部にTCの値を表示するか、UBの値を表示するかを選択スイッチです。

⑭ INT/EXTスイッチ

INT：内蔵タイムコード・ジェネレータを使用します。

EXT：タイムコード入力端子もしくは映像信号のVITCより入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューNo.505（EXT TC SEL）で設定します。

⑮ TAPE/EEスイッチ

<STOP時>

TAPE：テープから再生される信号を出力します。

EE：INPUT SELECTスイッチで選択された入力信号を出力します。

セットアップメニューNo.116（EE MODE SEL）でNORMAL/THRUの選択を行います。

いずれも信号はモニター用としてご使用ください。

<記録/編集*時>

TAPE：同時再生信号を出力します。

EE：INPUT SELECTスイッチで選択された入力信号を出力します。

*セットアップメニューNo.308（CONF EDIT）の設定が必要です。

各部の名称と機能

フロントパネル中央

- ⑳ REMOTE/LOCALスイッチ
REMOTE、RS-232C、パラレルの各端子を使って、外部から本機をコントロールする時に切換えます。
REMOTE：9ピンのREMOTEもしくはRS-232C、パラレルリモート端子を使って接続した機器で本機をコントロールする時、この位置にします。
LOCAL：本機の操作パネルで本機をコントロールする時にこの位置にします。
- ㉑ REMOTEランプ
REMOTE/LOCALスイッチで、REMOTE側を選択した時に点灯します。
- ㉒ サーチボタン
押すとサーチモードになります。
サーチダイヤルをシャトルモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。
- ㉓ JOG/SHTL/SLOWランプ
サーチダイヤルとSHTL/SLOWスイッチの現在の状態を表示します。
JOG(ジョグ)：JOGモード時に点灯します。
SHTL(シャトル)：SHTLモード時に点灯します。
SLOW(スロー)：VARモード時に点灯します。
- ㉔ SHTL/SLOW スイッチ
サーチダイヤルをSHTL用、もしくはVAR用として用いる時の選択スイッチです。
- ㉕ REV/STILL/FWDランプ
サーチダイヤルの動作に応じて点灯します。
REV：ダイヤルを左に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがREV方向に走行します。
STILL：JOGモード時には、ダイヤルの回転が停止した時に点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープ走行も停止します。
SHTLモード時には、ダイヤルがスチル位置にある時に点灯します。
FWD：ダイヤルを右に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがFWD方向に走行します。
- ㉖ サーチダイヤル
編集点を探すためのダイヤルです。
ダイヤルは一度押すごとにシャトルモードとジョグモードが交互に切替わり、JOG/SHTL/SLOWランプのいずれかが点灯します。
POWER ON時は、一度ダイヤルがSTILL位置に戻らないと動作しません。
SHTLモード：SHTL/SLOWスイッチがSHTLの時、ダイヤルを回し、任意の位置で止め(シャトル)ると、その回転角度位置に対応した速度で再生できます。中央位置で静止画になります。
SHTL/SLOW スイッチがSLOWの時には、ダイヤルを左一杯に回すと - 4倍速、中央位置で静止画、右一杯にまわすと +4倍速になります。SLOWの最大速度はセットアップメニューNo.317(VAR FWD MAX)、No.318(VAR REV MAX)で選択できます。
JOGモード：ダイヤルにクリックがなくなり、ダイヤルの回転速度に応じた速度で再生します。(ジョグ) ます。セットアップメニューNo.320(JOG FWD MAX)、No.321(JOG REV MAX)の設定により最大速度を切換えることができます。

フロントパネル中央

- ②9 PREROLL ボタン
送出や手動編集の頭出しに使用します。
押すとテープがプリロール点まで走行して止まります。
プリロール時間は、セットアップメニューNo.000 (P-ROLL TIME) で設定できます。
INまたはOUTボタンを押しながらこのボタンを押すと、その登録点にキューアップすることができます。
IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動登録します。(ただしセットアップメニューNo.311 (AUTO ENTRY) を「ENA」にした場合)

- ③0 AUTO EDIT ボタン
編集点を登録した後にこのボタンを押すと、自動編集を実行します。
IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動編集を実行します。

- ③1 PREVIEW/REVIEWボタン
PREVIEW : 編集点を登録した後にこのボタンを押すとテープが走行し、編集は実行せずにリハーサルができます。
IN点が登録されていない時にこのボタンを押すと、押した点をIN点として登録し、プレビューを実行します。
REVIEW : 1区間の編集実行後にこのボタンを押すと、今編集した区間を再生し、レコーダ側のモニターで見ることができます。

- ③2 IN (A IN) /SET/OUT (A OUT) ボタン
IN (A IN) /OUT (A OUT) ボタンを押しながらSETボタンを押すと、IN (A IN) /OUT (A OUT) 点を登録します。
A IN/A OUTはオーディオスプリット編集を行う時、ビデオと異なるオーディオのIN/OUT点を登録する場合に使用します。
IN/OUT点が登録されている時には、登録されているINボタン、もしくはOUTボタンが点灯します。
登録した後にこのボタンを押すと、IN/OUT点の値がカウンタ表示部に表示されます。
IN/OUTボタンを押しながらRESETボタンを押すと、IN/OUT点の登録が削除できます。

- ③3 TRIMボタン
IN/OUT点の微修正用のボタンです。
INボタンまたはOUTボタンを押しながら、+または- ボタンを押すと、登録した編集点を1フレーム単位で修正できます。+ ボタンを押すと1フレーム進み、- ボタンを押すと1フレーム戻ります。

- ③4 ASSEMBLEボタン
アSEMBル編集をする時に押します。
ボタンは自照式で、一度押すとON (点灯)、もう一度押すとOFF (消灯) になります。

- ③5 INSERTボタン
インサート編集をする時、5つのボタンのうち希望のボタンを押して編集する入力信号を選択します。ボタンは自照式で、一度押すとON (点灯)、もう一度押すとOFF (消灯) になります。

- ③6 カウンタ表示部
TC、CTLのカウンタ値や、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。

各部の名称と機能

フロントパネル中央

- ③7 タイムコードボタン
TC/UBの値を設定する時に使用します。
SHIFT : TCやUBの値を設定する時には、まずこのボタンを押してデータの歩進を止めます。
表示が点滅している桁を変更します。
一度押すたびに表示の点滅が一桁ずつ右に移動し、一番右桁までいくと一番左の桁までもどります。
押し続けると、次々に移動します。
ADJ : 表示が点滅している桁の数字を変更します。
一度押すたびに数値が1つずつ増加し、押し続けると次々に増加します。
START : SHIFT/ADJで変更されたデータを確定します。
またTC、UBの設定をしていない時に押すと、TCGまたはUBGの設定値を確認できます。
RESET : CTLモード時は、ボタンを押すと表示が[00:00:00:00]になります。
また、CTLモード時には、登録されている編集点は消去されます。
TC/UBモード時は、SHIFTボタンとの同時押しで、ジェネレータをリセットします。
- ③8 ワーニングランプ
ワーニング項目がある時に点灯します。
- ③9 カセット挿入表示ランプ
本機にカセットが挿入されている時に、このランプが点灯します。
- ④0 民生カセット挿入表示ランプ
民生用DVの機器で記録されたカセットが挿入されている時に点灯します。
- ④1 SCH ランプ
外部同期信号のSCH位相が、一定の範囲内にある時に点灯します。
- ④2 CFランプ
カラーフレーミングがロックしている時に点灯します。
- ④3 レベルメーター
PCMオーディオ信号のCH1/CH2、CUEトラック信号、およびビデオ信号の各レベルを表示します。
オーディオ信号は出力信号の各レベルを表示します。
ビデオ信号は入力信号レベルを表示します。
- ④4 入出力レベルの調整ボリューム*
PCMオーディオ信号CH1/CH2とCUEトラック信号の各記録および再生レベルと、コンポジットビデオ信号の記録レベルを調整するボリュームです。
上段に配置されている各ボリュームが記録レベルの調整用ボリュームです。
下段に配置されている各ボリュームが再生レベルの調整用ボリュームです。
各ボリュームは“PULL FOR VARIABLE”形式で、ボリュームを引き上げた時に初めて調整が可能です。ボリュームを押し下げた時には、各信号レベルがユニティ値(初期値)になります。

* セットアップメニューNo.722(INT SG)がONの場合の入力レベルは、常に固定(-20dB)になります。

フロントパネル中央

- ④5 ヘッドホンジャック
ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生/編集中の音声を、ヘッドホンでモニターできます。
- ④6 音量調整ボリューム
ヘッドホンの音量およびモニター出力の音量を調整するボリュームです。
ヘッドホン出力とモニター出力の音量を連動させるか、分離させるかは、セットアップメニューNo.708 (MONI OUT) で選択できます。(ただしヘッドホンは常に連動しています。)
分離させた時には、モニター出力はユニティ値(初期値)になります。
- ④7 MONITOR SELECTスイッチ
モニターL/R に出力する音声信号を切換えるためのスイッチです。
「L」ボタンを押すたびに、モニターLに出力する信号をCH1、CH2、CUE、CH1、・・・と切換えます。
また、「R」ボタンを押すたびに、モニターRに出力する信号をCH1、CH2、CUE、CH1、・・・と切換えます。
今、どの信号を選択しているかの表示は、レベルメーター表示部のL/Rのランプの点灯で示しています。(セットアップメニューNo.713 (MONI CH SEL) がAUTO1またはAUTO2の時は、モニター出力に合わせて表示が切換わります。)
- ④8 METER (FULL/FINE) 切換スイッチ
オーディオレベルメータのスケール表示(目盛り)を切換えるボタンです。
FULLモード：標準目盛になります。(- ~ 0dBの範囲)
FINEモード：0.5dBごとのスケールになります。

各部の名称と機能

フロントパネル下部

- ④⑨ ENCODER CONTROLスイッチ
ビデオ出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダリモートコントローラから行うかの切換えスイッチです。
REMOTE：外部のエンコーダリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。
LOCAL：本機でビデオ出力信号の各調整を行います。
- ⑤⑩ VIDEO LEVEL調整ボリュームとスイッチ
ENCODER CONTROL スイッチが「LOCAL」の時、ビデオレベルの調整ができます。
スイッチが「PRESET」の時には、ビデオレベルはユニティ値（0dB）になります。
スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでビデオレベルの調整ができます。
- ⑤⑪ CHROMA LEVEL調整ボリュームとスイッチ
ENCODER CONTROL スイッチが「LOCAL」の時、クロマレベルの調整ができます。
スイッチが「PRESET」の時には、クロマレベルはユニティ値（0dB）になります。
スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでクロマレベルの調整ができます。
- ⑤⑫ SET UP調整ボリュームとスイッチ（コンポジット出力のみ可変）
ENCODER CONTROLスイッチが「LOCAL」の時、セットアップレベルの調整ができます。
スイッチが「PRESET」の時には、セットアップレベルはユニティ値（0 IRE）になります。
スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでセットアップレベルの調整ができます。
- ⑤⑬ HUE調整ボリュームとスイッチ（コンポジット出力のみ可変）
ENCODER CONTROL スイッチが「LOCAL」の時、ヒューの調整ができます。
スイッチが「PRESET」の時には、ヒューはユニティ値（0°）になります。
スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでヒューの調整ができます。
- ⑤⑭ CFスイッチ
再生フレーミングのロックを4フィールド単位で行うか、2フィールド単位で行うかを切換えます。
4F：フレーミングのロックを4フィールド単位で行います。
2F：フレーミングのロックを2フィールド単位で行います。
- ⑤⑮ SYNCHRONIZEスイッチ
2台のデッキ間で調相をするかしないかの選択スイッチです。
ON：調相をかけます。誤差のない編集をすることができます。
OFF：調相をかけません。編集点が数フレームずれますが、編集に素早く入ります。
- TCジェネレータ・スイッチ
- ④⑭ REGEN：REGEN/PRESETスイッチを「REGEN」にした時は、タイムコードリーダーがテープから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレータが同期します。
TC/UBのどれをREGENにするかはセットアップメニューNo.503（TCG REGEN）で選択します。
- PRESET：REGEN/PRESETスイッチを「PRESET」にした時は、操作パネルまたはリモートコントロールでプリセットが可能になります。
- REC RUN：RUN MODEスイッチを「REC」にした時には、記録中だけタイムコードが歩進します。上記のREGEN/PRESETが「REGEN」の時、常時タイムコードは歩進します。
- FREE RUN：RUN MODEスイッチを「FREE」にした時は、電源が投入されている間、動作モードに関係なくタイムコードが歩進します。

フロントパネル下部

57 REC INHIBIT スイッチ

カセットテープへの記録の禁止 / 許可を選択します。

ON : カセットテープへの記録を禁止します。

この時、フロントパネル上のREC INHIBITランプが点灯します。

OFF : カセットの誤消去防止機構が記録可の時に、カセットテープへの記録が可能です。

58 MENUボタン

このスイッチを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを(ただし、VIDEO OUT 3端子を使用している時)、本機の表示部にはセットアップメニュー番号を表示します。

再度押すと、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

59 SETボタン

このスイッチを押すと、セットアップメニューで設定したデータを確定します。

データ確定後は、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

60 DIAGボタン

このボタンを押すとVTRの情報を表示します。

再度ボタンを押すと元の表示に戻ります。

VTRの情報には「HOURS METER」情報と「WARNING」情報があります。

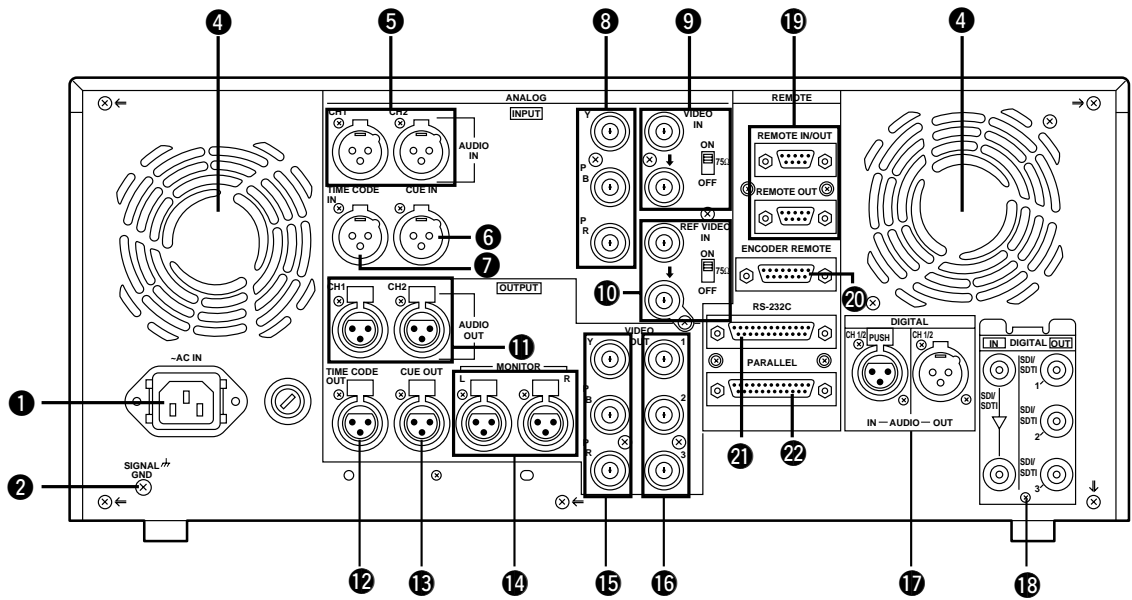
これらの情報の表示切換えは、サーチボタンを押すことによって行います。

「HOURS METER」画面では通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数等を表示します。

「WARNING」画面ではワーニングの内容を表示します。

各部の名称と機能

コネクタ部



コネクタ部

- ① AC IN コネクタ
付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。
- ② SIGNAL GND 端子
ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- ③ ヒューズホルダ
5Aのヒューズが入っています。
- ④ ファンモータ
本機の冷却用のファンモータです。
ファンモータがなんらかの異常で停止した時には、**W**ランプが点灯します。
ワーニングの状態で継続して動作させると、デッキ内部の温度が上昇し、安全温度を越した時にはすべての動作を停止させます。
- ⑤ ANALOG AUDIO IN端子
アナログオーディオの入力端子です。
- ⑥ CUE IN端子
CUEトラックに記録するアナログ信号を入力する端子です。
セットアップメニューNo.702 (CUE IN LV) で -60dB入力モードを選択することにより、
マイクからの音声信号の記録もできます。
- ⑦ TIME CODE IN端子
外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。
- ⑧ ANALOG COMPONENT VIDEO IN端子
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を入力します。
- ⑨ ANALOG COMPOSITE VIDEO IN端子と75Ω終端スイッチ
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。
2つの入力端子は、ループスルーでつながっています。
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。
- ⑩ REF VIDEO IN端子と75Ω終端スイッチ
リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。
- ⑪ ANALOG AUDIO OUT端子
アナログ・オーディオ信号を出力します。
- ⑫ TIME CODE OUT端子
再生時は再生タイムコードを出力します。
記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレータの発生するタイムコードを出力します。
- ⑬ CUE OUT端子
CUEトラックに記録されたアナログ信号を出力します。

各部の名称と機能

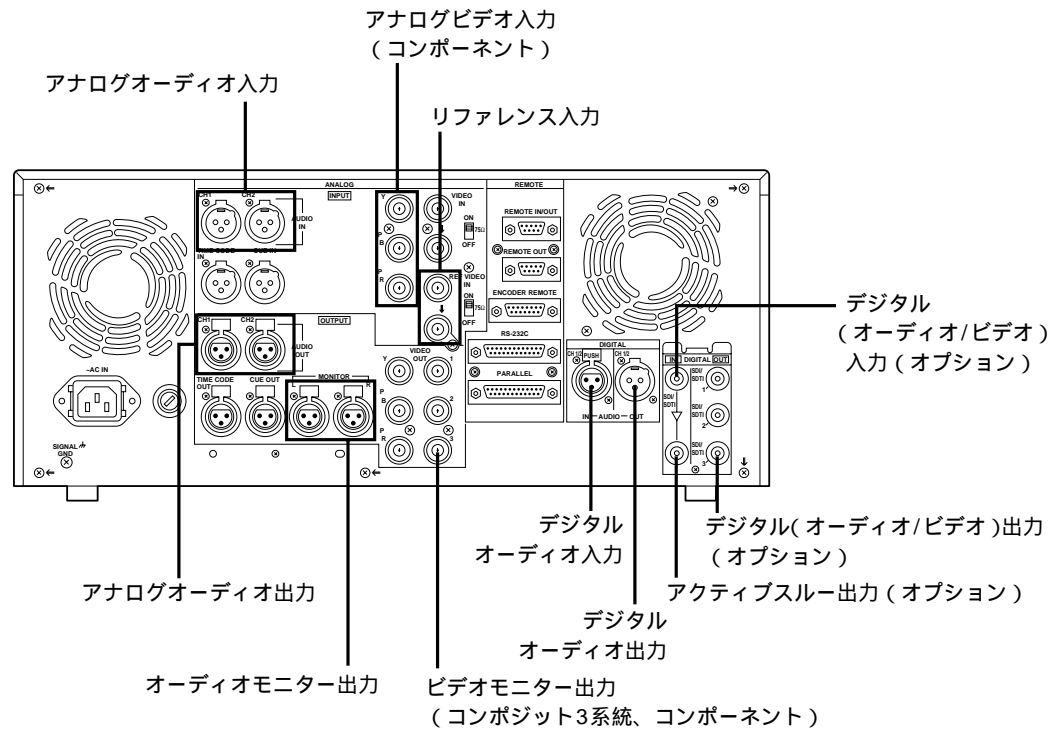
コネクタ部

- ⑭ MONITOR OUT端子
再生時には、PCMオーディオ信号CH1/CH2、もしくはCUEトラックからの再生信号を出力します。
- ⑮ ANALOG COMPONENT VIDEO OUT端子
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。
- ⑯ ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT端子
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。
VIDEO OUT 3の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。
スーパーのON/OFFはセットアップメニューNo.006 (SUPER) で選択します。
- ⑰ DIGITAL AUDIO IN/OUT端子
AES/EBU規格に準拠した、デジタル・オーディオ信号の入出力端子です。
- ⑱ SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT端子
(オプション、AJ-YA750Pが必要)
SMPTE259M-C, 272M規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。
SDTI/SDIボード(オプション、AJ-YAC850P) 使用時は、端子名称が異なります。
詳しくは、AJ-YAC850Pの取扱説明書をご参照ください。
- ⑲ リモートコントロール端子
本機を2台使って、あるいは本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。
リモートコントロール端子は、IN/OUT用とOUT用との2つがあります。
IN/OUT : 外部コントローラと接続
 デッキ対デッキ操作時に接続
OUT : パララン操作時に接続
 ループスルーとして使用
- ⑳ ENCODER REMOTE端子
ビデオ出力信号の各設定を外部から調整する時に、外部のエンコーダリモートコントローラを接続します。
- ㉑ RS-232C端子
- ㉒ PARALLEL REMOTE端子
本機を外部から操作する時に使用します。

接続

1台での接続

フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。

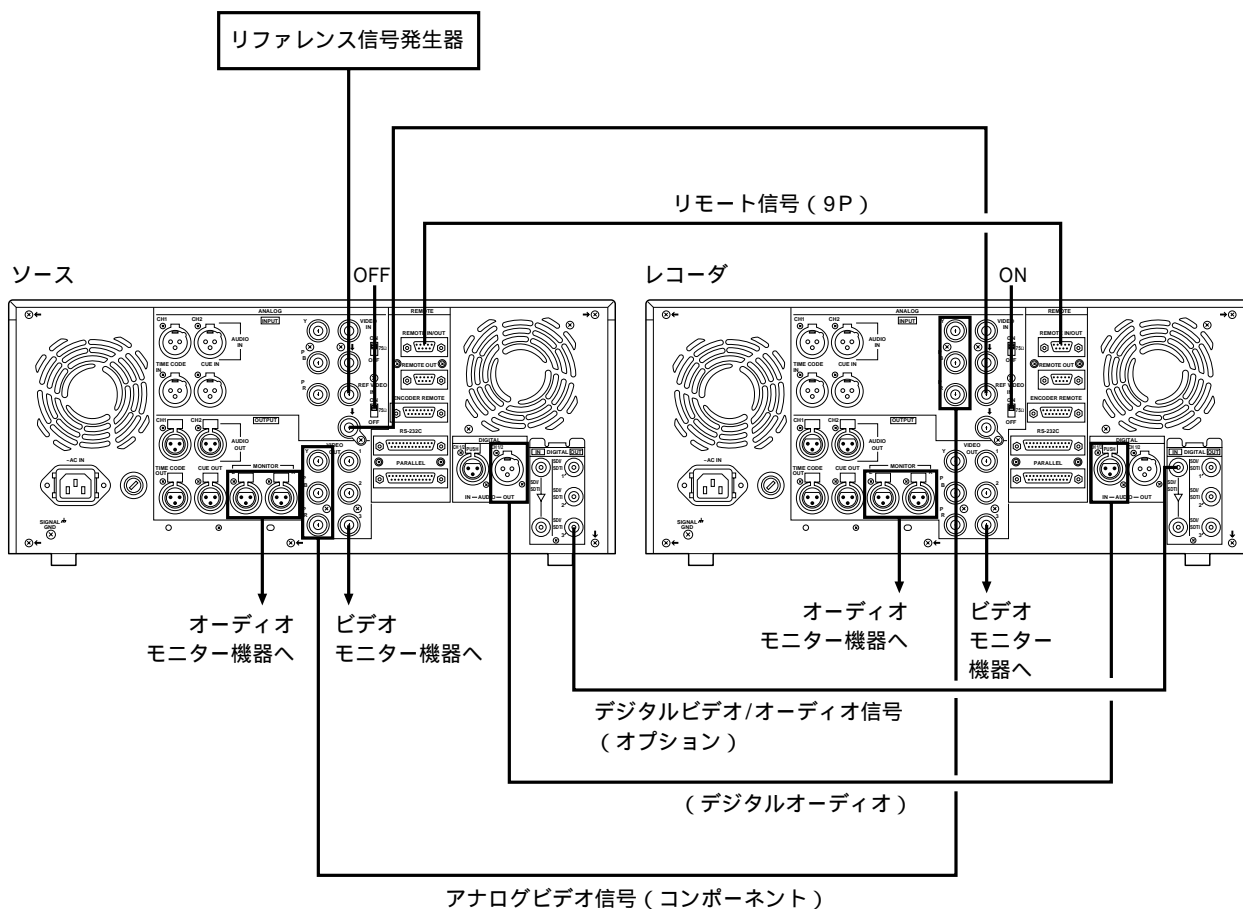


接続

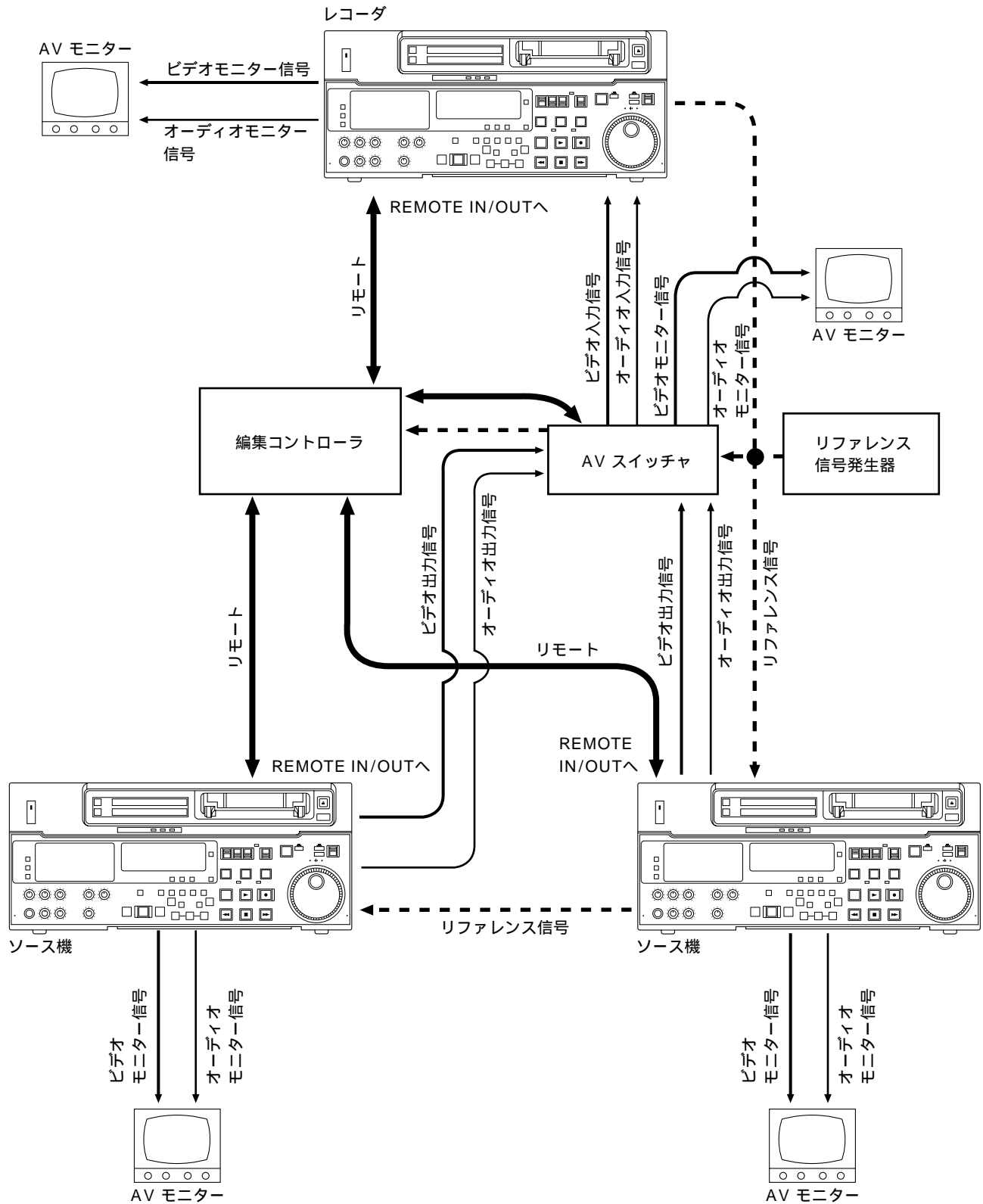
2台での接続例

(デッキ対デッキ)

- ソース側
- フロントパネルのCONTROLスイッチを「REMOTE」にします。
- レコーダ側
- フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。



編集コントローラと接続例

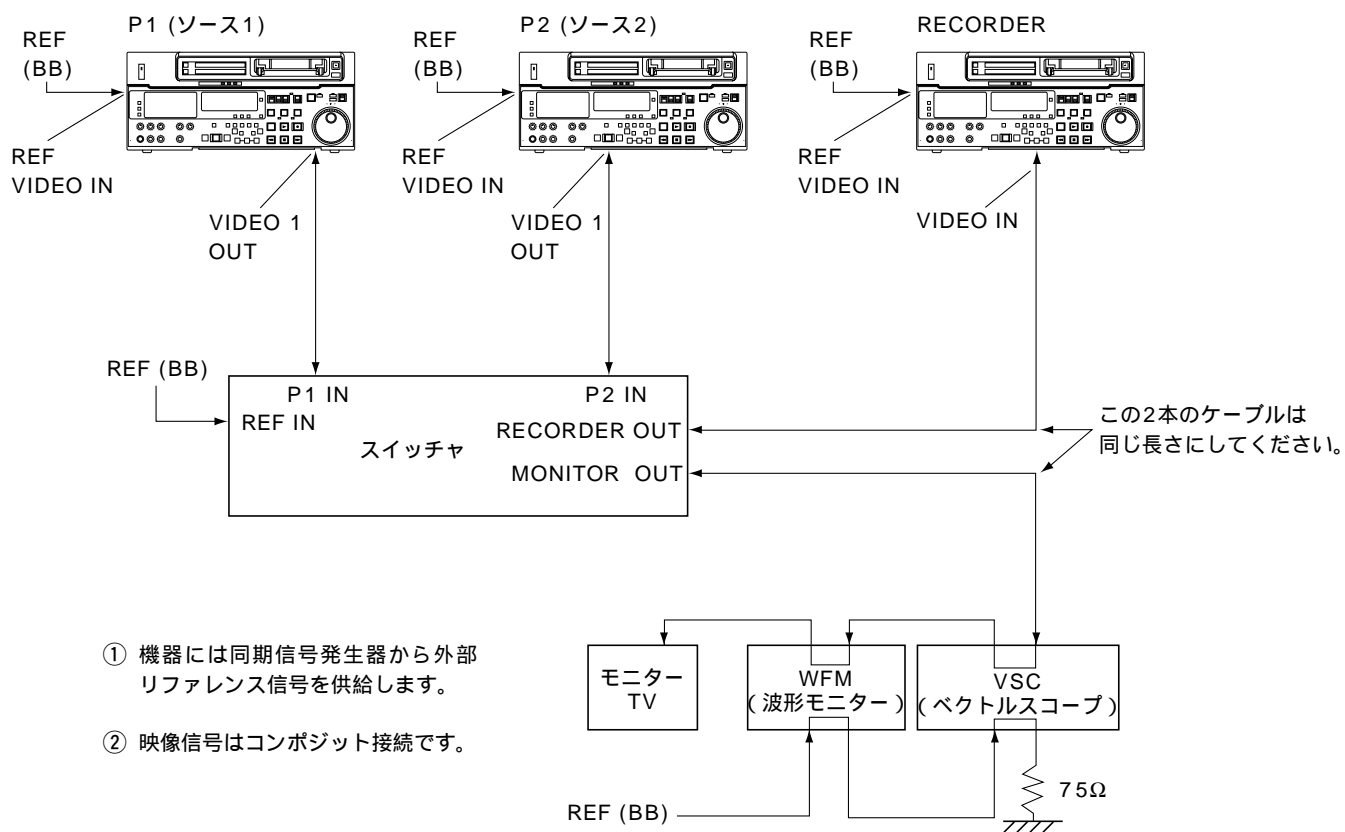


< ノート >

CMX社製の編集コントローラにつきましては、編集コントローラ側の対応が必要です。

接続

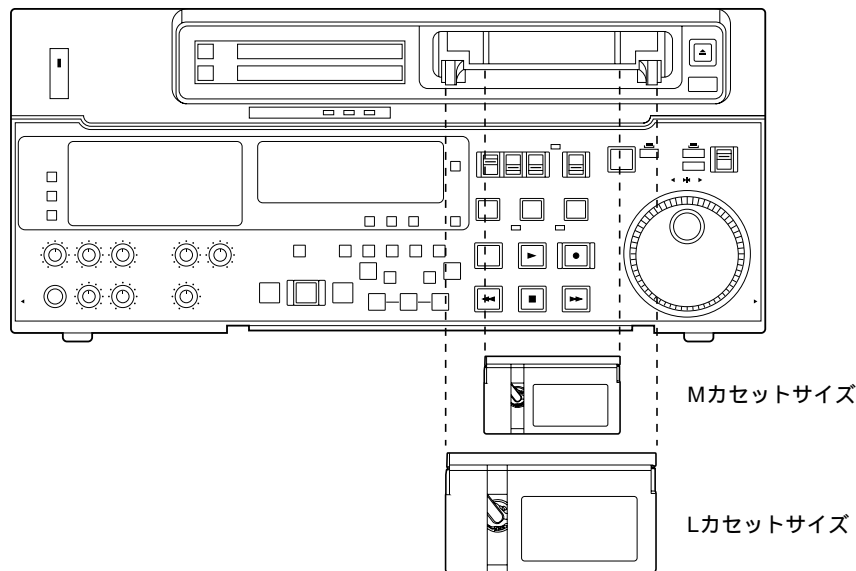
ビデオ出力信号（エンコーダ出力）の調整のための接続



テープ

タイプ	内容
民生用カセット (Sカセット)	民生用カメラレコーダ専用テープです。 カセットアダプタ(別売品)を使用すれば、再生のみできます。ただし、長時間用カセットテープ(標準モード80分/LPモード120分)は使用できませんのでご注意ください。 なお、テープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。 「カセットアダプタを使用せずにカセットテープを挿入しますと故障の原因となりますのでご注意ください。」
Mカセット	最大66分の記録・再生テープ (AJ-P12MP、AJ-P24MP、AJ-P33MP、AJ-P46MP、AJ-P66MP)
Lカセット	最大184分の記録・再生テープ (AJ-P34LP、AJ-P66LP、AJ-P94LP、AJ-P126LP、AJ-P184LP*) * AJ-P184LPカセットテープは、DVCPRO(25M)184分テープ対応VTRにてご使用ください。

挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押ししてください。
カセットテープは自動的にローディングされます。



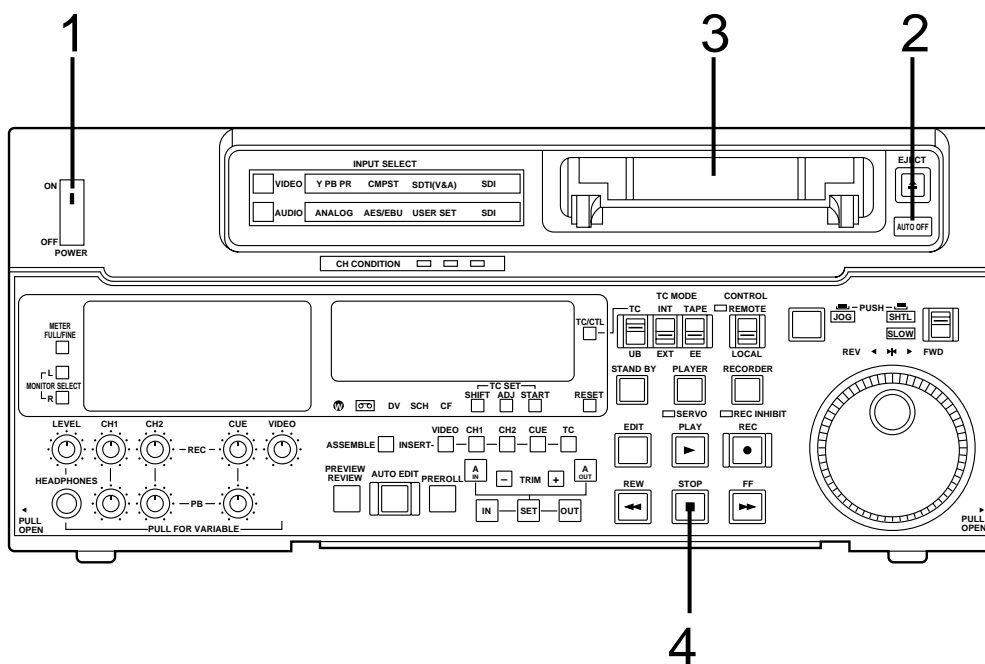
民生DVテープの再生時のご注意

- 民生テープは再生のみご使用できます。
- 民生のLPモードで記録されたテープは再生できません。
- 民生テープに記録された素材を編集する時には、DVCPROのテープか、他の放送用VTRに記録してご使用ください。
- 民生テープへの記録はできませんので、記録に関する機能、REC動作、編集の選択と実行、
- TAPE/EE切換え等の動作は禁止しています。
- 民生テープの最大送り速度は32倍速です。
- 民生テープでの最大スチル時間は10秒に設定しています。
- 民生テープのスローモーション再生はできません。
- テープ保護の観点から、民生テープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようお願いいたします。
- 民生テープご使用時のSTILL TIMERの最大時間は10秒に、また、STILL状態で放置した時の合計時間は1分に設定されています。

電源投入/カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

- 1 電源を入れます。
- 2 AUTO OFFランプが消灯していることを確認します。
結露など異常があると、AUTO OFFランプが点灯し、全ての操作はできなくなります。
- 3 カセットテープを挿入します。
カセットテープは無理なく、正規の位置に挿入してください。
- 4 STOPランプが点灯していることを確認します。
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。
EJECTランプは消灯します。

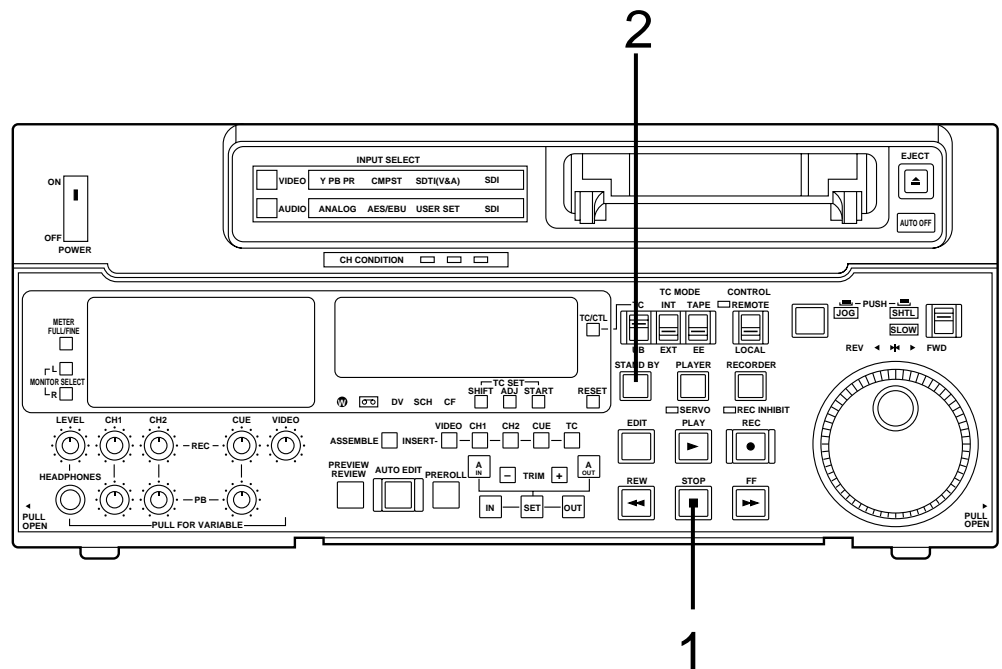


STOP/STANDBYモード

- 1 STOPボタンを押すと、STOPモードになります。
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。
 - テープ保護のため、セットアップメニューNo.400 (STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、スタンバイOFFモードになります。
STOP、REW、FF、PLAYの各ボタンを押すと、そのモードになります。
- 2 STAND BYボタンを押すと、スタンバイON/OFFモードになります。
ランプの点灯中は、スタンバイONモードです。
ストップモード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフローディング状態となりランプが消灯します。
スタンバイOFFモード中にこのボタンを押すと、スタンバイONモードになります。

STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時には、同一箇所での累計待機時間が長くなります。
- テープ保護の観点から、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えば、最大30秒程度に設定してください。



- 1 カセットテープの誤除去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。
- 2 STOPボタンを押して、本機を停止モードにします。
- 3 TAPE/EEスイッチを「EE」にします。
モニターテレビにE-E画像が出ます。
- 4 REC INHIBITランプの消灯を確認します。
ランプが点灯しているときは REC INHIBITスイッチを「OFF」にします。
- 5 ビデオ/オーディオ入力信号の選択とレベルの調整
 - 5-1 入力ビデオ/オーディオ信号の選択
 - 1 記録する信号を接続します。
 - 2 フロントパネルのINPUT SELECTスイッチで入力信号を選択します。点灯している入力信号が選択されています。
 - 5-2 ビデオレベル調整
 - 1 通常はビデオ入力レベルの調整ボリューム④を押し込んだままにしておきます。
(ユニティ値)
ビデオ信号は適正なレベルで記録されます。
 - 2 記録レベルを調整するときは、調整ボリュームを引き出し、調整ボリュームで+3dB ~ - 3dBの範囲で調整します。
 - 5-3 オーディオレベル調整
 - 1 アナログオーディオ CH1/CH2とアナログキューのオーディオ入力信号レベルを調整します。
通常はオーディオ入出力レベルの調整ボリューム④を押し込んだままにしておきます。(ユニティ値)
オーディオ信号は適正なレベルで記録されます。
 - 2 記録レベルを調整するときは、調整ボリュームを引出し、アナログキューは - 20dBを超えない範囲に調整します。
- 6 RECボタンとPLAYボタンを同時に押します。
RECとPLAYランプが点灯し、記録が始まります。
- 7 記録を終了するときは、STOPボタンを押します。
記録が終了し、停止モードになります。

< ノート >

- 記録中はSERVOランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。
- ビデオはアナログコンポジット入力のみ調整できます。(デジタルビデオ入力とアナログコンポジット入力は調整できません。)
- 記録する音声と映像は再生画像に対して5フレームずれて記録されます。
例えば、再生画像を見ながらあるタイミングで音声を記録する時は、再生画像に対して記録する音声は5フレームずれた位置に記録されます。

再生

- 1 カセットテープを挿入し、STOPモードにします。
- 2 PLAYボタンを押します。
通常の再生が開始されます。
- 3 オーディオ再生レベルを調整します。
各音声レベル調整つまみを引き出して、左右に回して調整します。
通常は押し込んだ状態にしておきます。(ユニティー値)
- 4 再生を終了するときは、STOPボタンを押します。
VTRはSTOPモードになります。

< ノート >

再生中はSERVOランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。

ジョグ/シャトル

ジョグモード

- 1 サーチダイヤルを押して、ダイヤルを押し込みます。
JOG ランプが点灯していることを確認します。
- 2 サーチダイヤルを回します。
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピードで再生します。セットアップメニューNo.320 (JOG FWD MAX) \ No.321 (JOG REV MAX) の設定により最大速度を切換えることができます。
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。
再生画はノイズレスになります。
- 3 ジョグモードから他のモードに移行する時は、移行するモードのボタンを押します。

シャトルモード

- 1 サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻します。
SHTLランプが点灯し、シャトルモードになります。
 - 電源を入れた直後はサーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。
- 2 SHTL/SLOW スイッチを「SHTL」または「SLOW」に切換えます。
- 3 サーチダイヤルを回します。
SHTL/SLOW スイッチが「SHTL」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが0 ~ ±60倍速まで変化します。(セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) で±16、±32、±60倍速に切換可能です。)
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
SHTL/SLOW スイッチが「SLOW」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが-4 ~ +4倍速まで変化します。(セットアップメニューNo.317 (VAR FWD MAX) \ No.318 (VAR REV MAX) の設定により最大速度を切換えることができます。ただし、-0.43 ~ +1倍速以外はノイズが出ます。)
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
再生画はノイズレスになります。
- 4 シャトルモードから他のモードに移行する時は、STOPボタンまたは他のボタンを押します。

<ノート>

工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたはジョグモードに移行するように設定されています。

ダイレクトに可変速モードに移行することが不都合な場合は、サーチボタンを経由で移行することもできます。

セットアップメニューNo.100 (SEARCH ENA) を「KEY」にします。

手動編集

- 1 編集モードを選択します。
ASSEMBLE：アセンブル（つなぎとり）編集を行います。
INSERT：インサート（挿入）編集を行います。
- 2 編集チャンネルを選択します。
インサート編集の場合は、編集を希望するチャンネルボタンを押してランプを点灯させます。
- 3 PLAYボタンを押します。
- 4 モニターテレビを見ながら、編集を希望する位置（IN点）を探し、IN点で、PLAYとEDITボタンを同時に押します。
- 5 モニターテレビを見ながら、編集を終了する位置（OUT点）でSTOPまたはPLAYボタンを押します。STOPモードになり編集が終了します。

<ノート>

記録する音声と映像は再生画像に対して5フレームずれて記録されます。

例えば、再生画像を見ながらあるタイミングで音声を記録する時は、再生画像に対して記録する音声は5フレームずれた位置に記録されます。

プリロール

- 1 PREROLLボタンを押します。
VTRはプリロール動作を行います。
 - 編集IN点が登録されている場合は、セットアップメニューNo.000 (P-ROLL TIME) で設定された時間だけ編集IN点から巻戻されて止まります。
 - 編集IN点が登録されていない場合は、ボタンを押した位置からセットアップメニューNo.000 (P-ROLL TIME) で設定された時間だけ巻戻されて止まります。

< ノート >

- 編集IN点とプリロール点の間にはタイムコードまたはCTLが連続して記録されてる必要があります。
- セットアップメニューNo.311 (AUTO ENTRY) により、IN点が登録されていない時にIN点を登録してプリロールするか、登録しないでプリロールするかを選択できます。

自動編集 (デッキ対デッキ)

編集とは、記録済テープを使用して、別々の内容を一つにまとめたり、 unnecessary部分を削除して必要な部分だけをまとめたりする作業のことです。

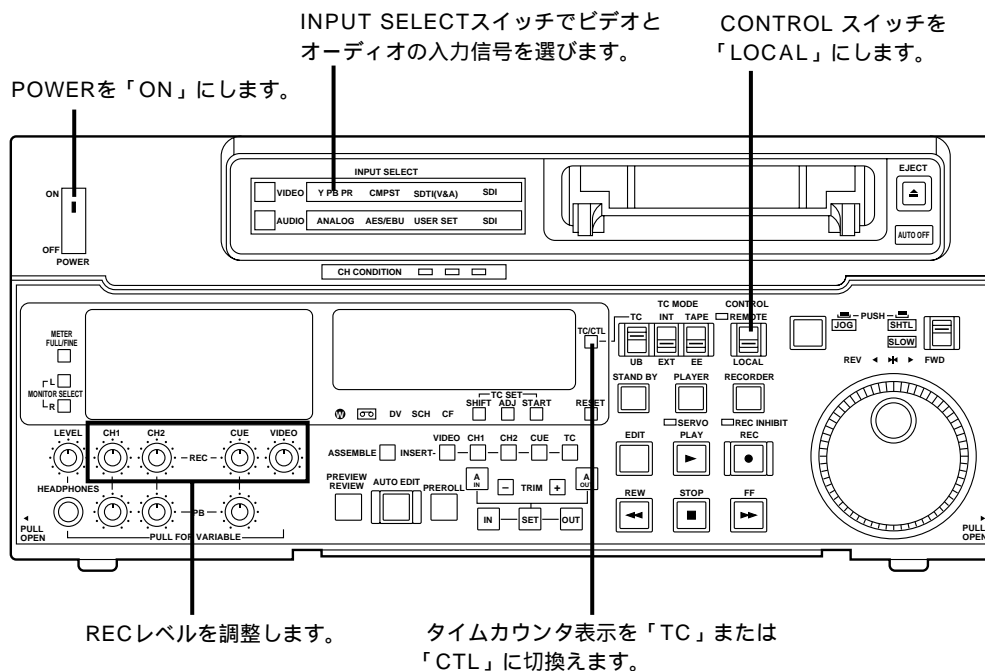
編集の基本的な操作は以下のとおりです。

- 1 CONTROLスイッチをプレーヤは「REMOTE」、レコーダは「LOCAL」にします。
- 2 編集モードを選びます。
- 3 レコーダとプレーヤの編集点を登録します。
- 4 編集点の確認・訂正を行います。
- 5 編集前の確認 (プレビュー) を行います。
- 6 編集を実行します。
- 7 編集結果を確認 (レビュー) します。

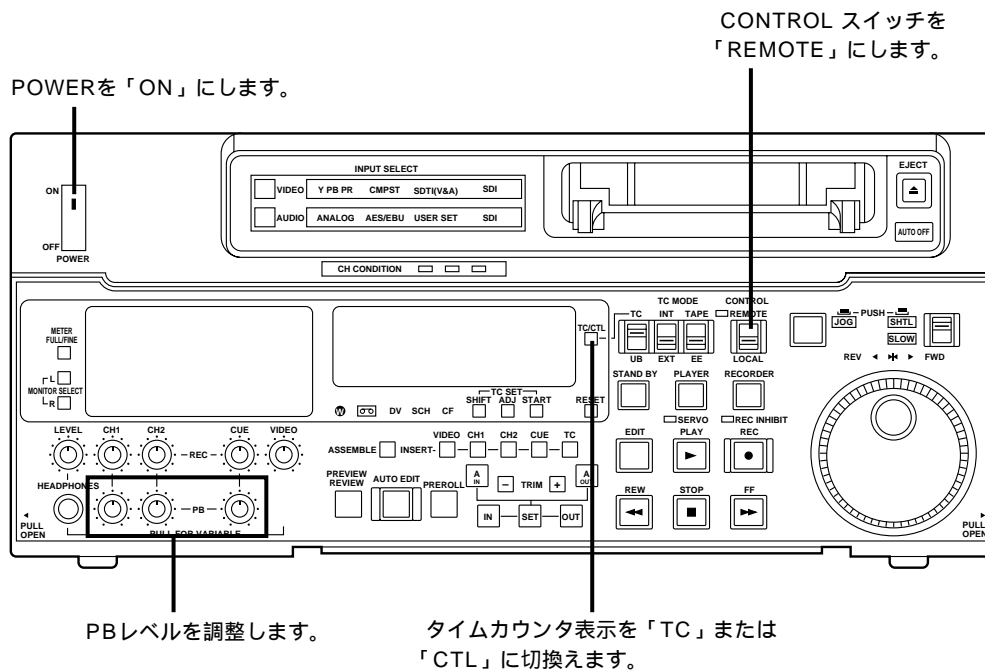
自動編集 (デッキ対デッキ)

スイッチの設定と調整

本機をレコーダとして使用する場合

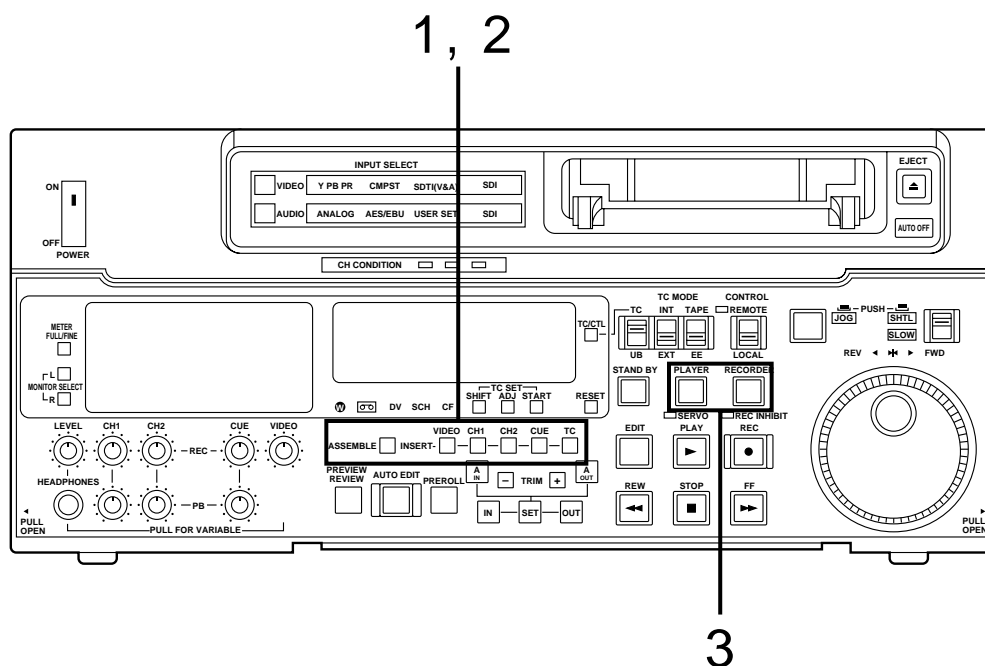


本機をプレーヤとして使用する場合



編集モードの選択

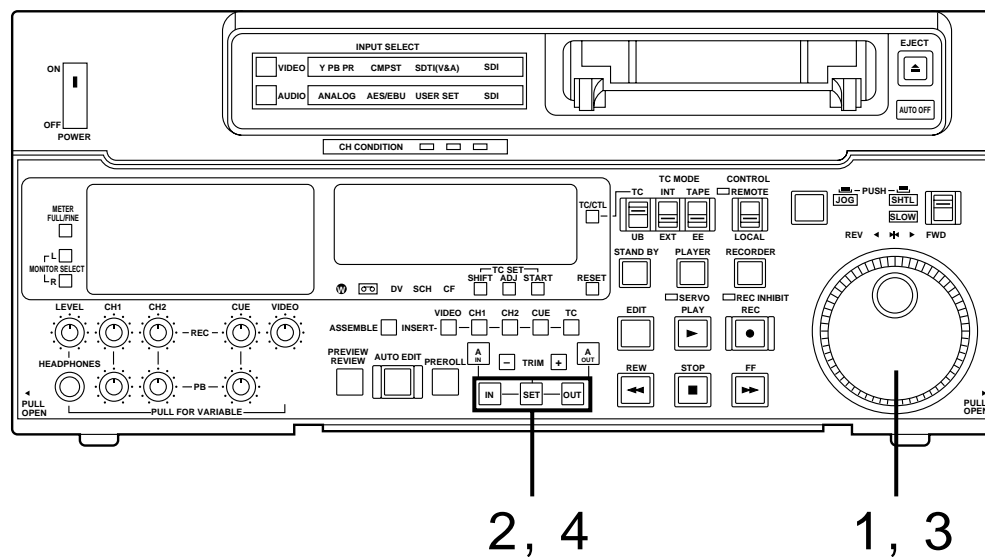
- 1 編集モードを選択します。
アSEMBル編集はASSEMBLEボタンを押します。
インサート編集はINSERTボタンを押します。
ASSEMBLE：アSEMBル（つなぎとり）編集モードになります。
INSERT：インサート（挿入）編集モードになります。
- 2 編集チャンネルを選択します。
アSEMBル編集の場合はASSEMBLEランプが点灯します。
インサート編集の場合は編集するチャンネルのボタンを押して点灯させます。
- 3 操作するVTRの選択（VTR2台での編集時の設定）
PLAYERまたはRECORDERボタンを押して操作を行うVTRを選択します。
PLAYER：プレーヤ側VTRを操作して、編集点を登録する場合に押します。
RECORDER：レコーダ側VTR（本機）を操作して、編集点を登録する場合に押します。



自動編集 (デッキ対デッキ)

編集点の登録

- 1 ジョグ・シャトル操作で編集IN点を探します。
希望の位置で静止画にします。
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は32ページを参照してください。
- 2 INボタンを押しながらSETボタンを押します。
編集IN点が登録されます。
編集IN点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 3 ジョグ・シャトル操作で編集OUT点を探します。
希望の位置で静止画にします。
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は32ページを参照してください。
- 4 OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。
編集OUT点が登録されます。
編集OUT点の値がディスプレイ部に表示されます。



マッチフレーム処理機能について

VTR2台での編集操作の場合、編集点はプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点の合計4つの編集点があります。しかし、最後の一つは自動的に計算されますので、編集点の登録はその内の三つだけ可能です。

ネガティブデュレーション機能について

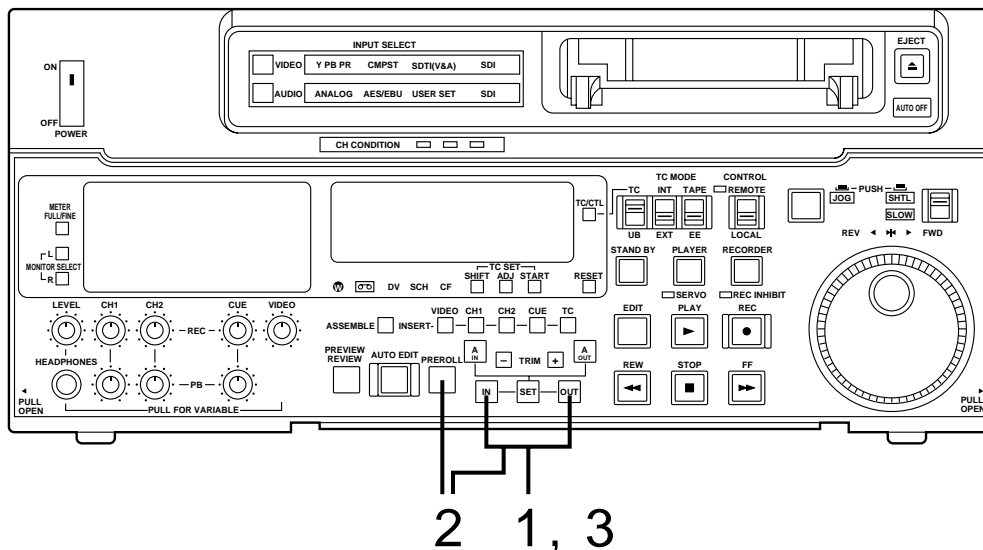
67ページのセットアップメニューNo.301 (IN/OUT DEL) とNo.302 (NEGA FLASH) を組み合わせてご使用ください。

編集点の確認

- 1 IN (またはOUT) ボタンを押して、編集点を確認します。
登録されている編集点の値がディスプレイに出ます。
- 2 IN (またはOUT) ボタンを押しながら、PREROLLボタンを押し、編集点の画像を確認します。
 - 編集IN (またはOUT) 点にテープがキューアップされて、静止画になります。
セットアップメニューNo.313 (AFTER CUE-UP) が「STOP」に設定されている場合、TAPE/EEスイッチが「EE」のときはE-Eモードになります。
- 3 INとOUTボタンを同時に押したままにし、編集区間 (デュレーションタイム) を確認します。
デュレーションタイムがディスプレイ部に表示されます。

デュレーションの計算のしかた

- 編集点が2点とも設定されている場合 2点間のデュレーション
- 編集点が1点だけ設定されている場合 設定されているデータとテープの現在アドレス間のデュレーション
- 編集点が設定されていない場合 前回編集した区間のデュレーション



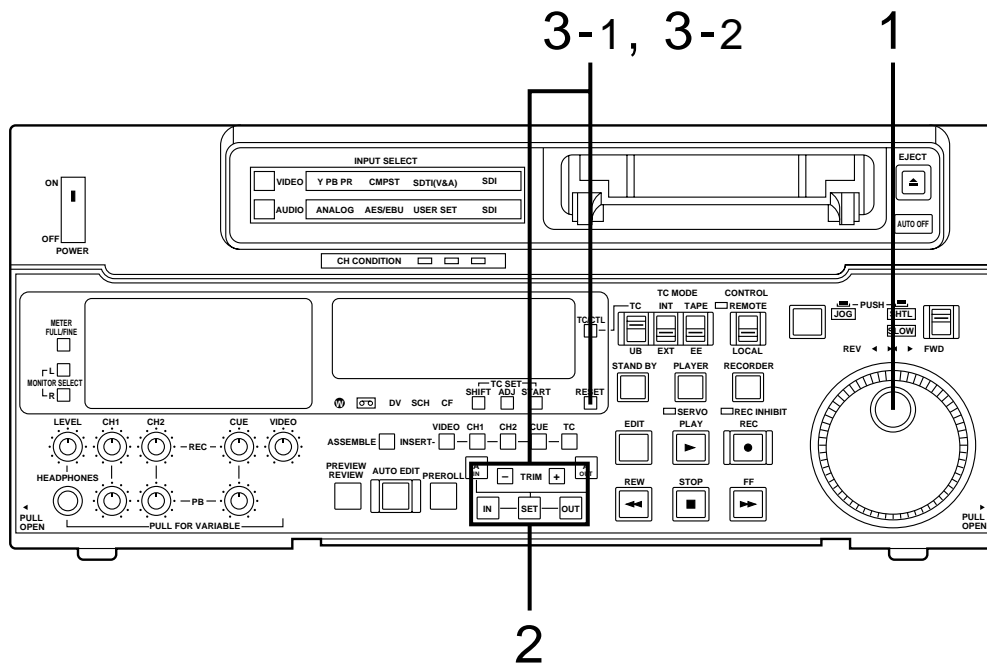
自動編集 (デッキ対デッキ)

編集点の訂正

- 1 編集点の再登録
ジョグ・シャトル操作で新しい編集点を探し、IN (またはOUT) とSETボタンを同時に押して再登録します。
- 2 フレーム単位での編集点の訂正 (トリム機能)
IN (またはOUT) ボタンを押しながらTRIMボタンを押します。
+ ボタンを一回押すたびに、1フレーム進みます。
- ボタンを一回押すたびに、1フレーム戻ります。
- 3 編集点のリセット
 - 3-1 編集INとOUT点両方のリセット
 - RESETボタンを押します。
 - 3-2 編集INまたはOUT点のどちらか片方のリセット
 - IN (またはOUT) ボタンを押しながらRESETボタンを押します。

< ノート >

- 編集点のリセット3-1はCTLモード時のみ有効です。
- 編集実行中でも編集OUT点のリセットは可能です。
- EJECTモード時はINおよびOUT点は自動的にリセットされます。

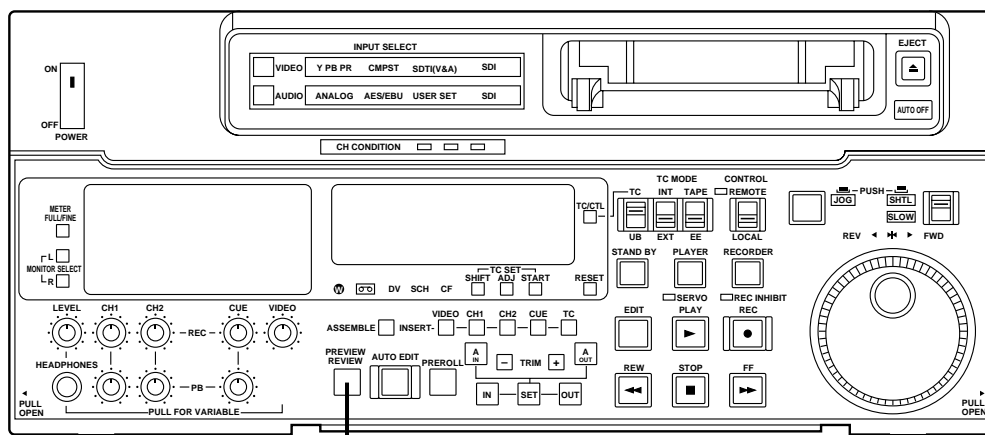


プレビュー

- 1 編集点登録後に、PREVIEW ボタンを押します。
通常のプレビューが実行されます。

< ノート >

- 編集IN点が登録されていない場合は、PREVIEWボタンが押された位置を編集IN点として登録します。
- プレビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
- プレビュー実行中にIN点以降で再度PREVIEWボタンを押すと、最初からプレビューが開始されます。
- 編集OUT点になると、自動的に止まります。



1

自動編集 (デッキ対デッキ)

自動編集の実行

- 1 AUTO EDITボタンを押します。
自動編集が実行されます。
 - 途中で編集をやめる場合は、STOPボタンを押します。
 - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。

ポストロールについて

アSEMBル編集の場合、編集OUT点通過後約2秒間編集を続け、OUT点に戻って止まります。
インサート編集の場合、編集OUT点通過後PLAYモードになり、OUT点に戻って止まります。

リトライ機能

STOPボタンを押して編集を途中でやめても、そのまま再度AUTO EDITボタンを押すと最初から編集を行います。

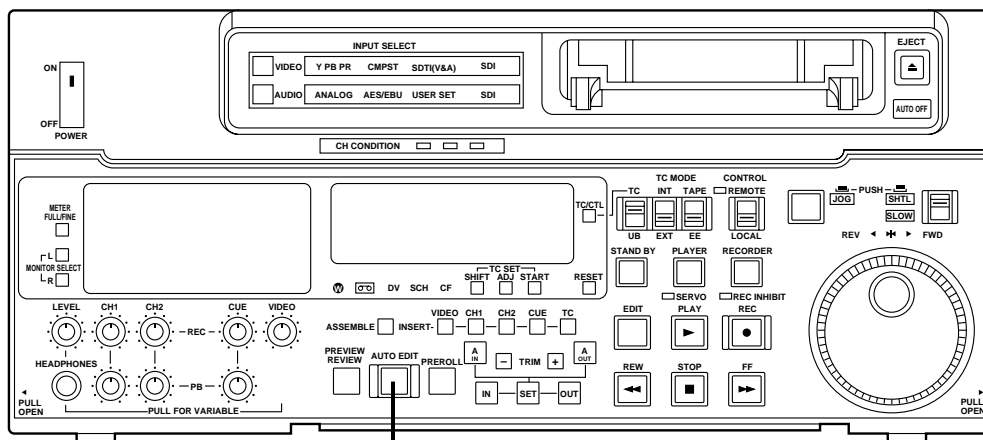
オートタグ編集

編集終了後、次の編集点登録をまだ行っていない場合、AUTO EDITボタンを押すと、前回の編集OUT点をIN点として登録し、編集を行います。

オートタグモードを解除する場合は、走行系 (PLAYボタンなど) ボタンを押します。

< ノート >

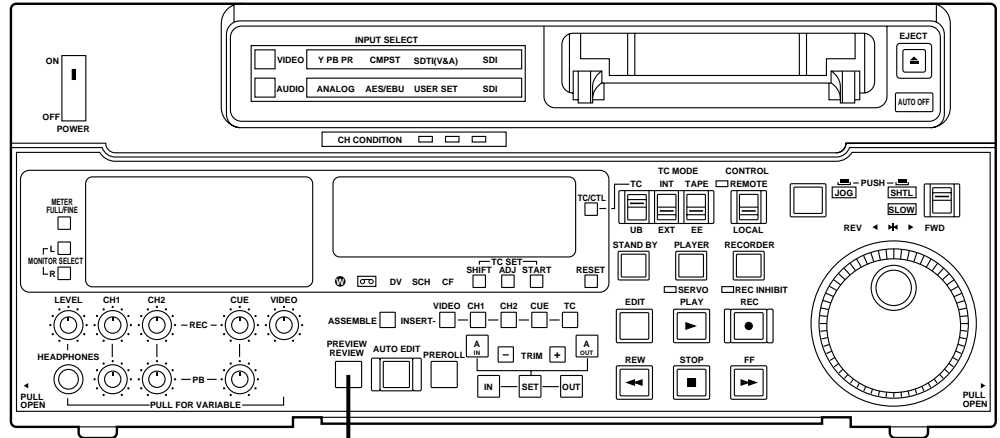
編集実行後、登録点は自動的にクリアされますがTRIM + (またはTRIM -) とSETボタンを同時に押すと、前回の編集点をリコールすることができます。



1

レビュー

- 1 編集終了後に、REVIEWボタンを押します。
レコーダ側でレビューが開始されます。
 - レビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
 - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。



自動編集 (デッキ対デッキ)

スプリット編集

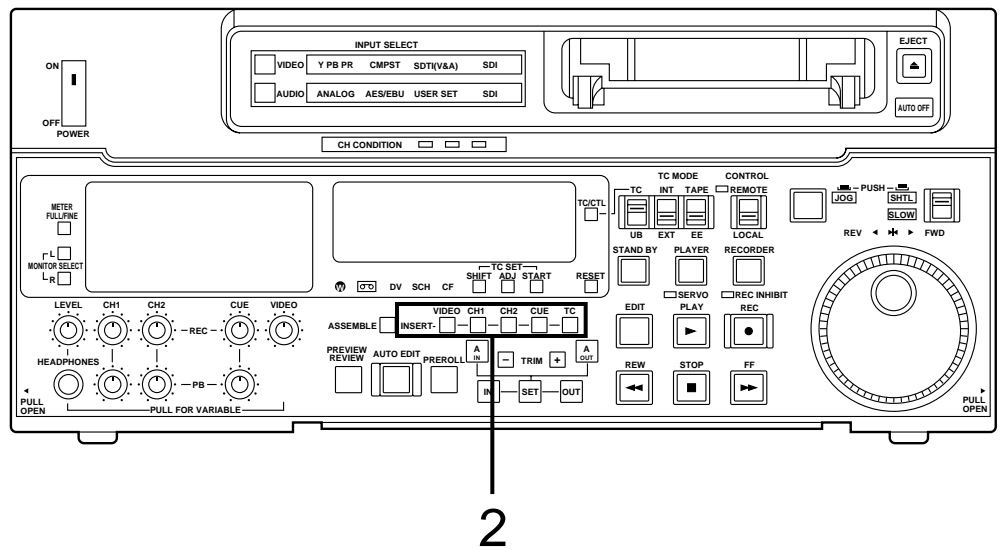
スプリット編集は、インサート編集中に編集チャンネルを切替える編集のことをいいます。

- 1 インサート編集を実行します。
- 2 編集チャンネルを切替えます。

例えば、VIDEOチャンネルをインサート編集中にAUDIO CH2の音声を追加挿入する場合

2-1 VIDEOチャンネル編集中にAUDIO CH2ボタンを押します。
ランプが点灯し、AUDIO CH2がインサート編集されます。

2-2 再度AUDIO CH2ボタンを押して、ランプを消灯させます。
AUDIO CH2のインサート編集が終了します。



オーディオスプリット編集

ビデオの編集点とオーディオの編集点を独立に登録し、編集点をずらせて編集することができます。オーディオ編集点の登録、削除、訂正はインサート編集モードが選択されている時のみ操作できます。編集点を登録した後は、インサート編集と同じ操作を行います。

編集点の登録

- ビデオIN点 : INボタンを押しながらSETボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。
- オーディオIN点 : A INボタンを押しながらSETボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。

編集点の削除

- ビデオIN点 : INボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- オーディオIN点 : A INボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A OUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。

編集点の訂正

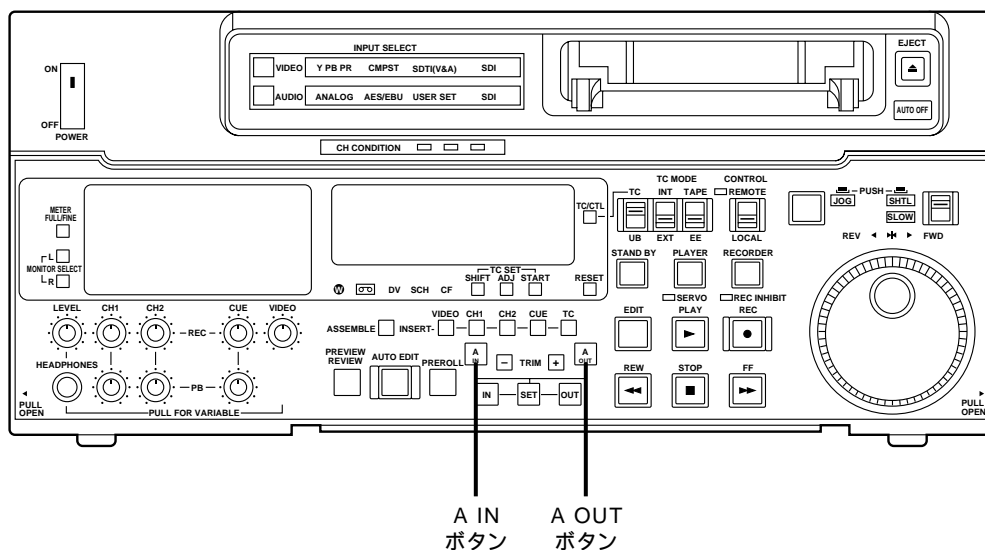
- ビデオIN点 : INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。
- オーディオIN点 : A INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。

オーディオスプリット編集の表示

オーディオ編集点を登録しますと、「*」がフロントパネルとモニターテレビにスーパー表示され、オーディオスプリット編集であることを表示します。

TCR 00:00:00:00
* AUTO EDIT

オーディオスプリット編集表示



オーディオスプリット編集

オーディオスプリット編集点の表示

編集点はフロントパネルに以下のように表示されます。(下図はオーディオIN点の場合)

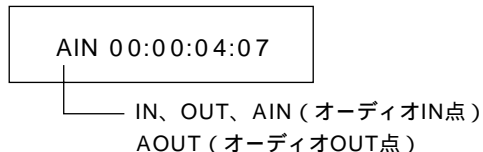
操作

ビデオIN点 : INボタンを押します。

ビデオOUT点 : OUTボタンを押します。

オーディオIN点 : A INボタンを押します。

オーディオOUT点 : A OUTボタンを押します。



< ノート >

オーディオ編集点の登録後、編集モードをアSEMBル編集に切換えると、オーディオ編集点は削除されます。

編集点へのキューアップ

ビデオIN点へのキューアップ : INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

ビデオOUT点へのキューアップ : OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

オーディオIN点へのキューアップ : A INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

オーディオOUT点へのキューアップ : A OUTボタンを押しながらPRE-ROLLボタンを押します。

デュレーションの表示

デュレーションはフロントパネルのみ表示することができます。

ビデオIN点/OUT点間 : INボタンとOUTボタンを同時に押します。

オーディオIN点/OUT点間 : A INボタンとA OUTボタンを同時に押します。

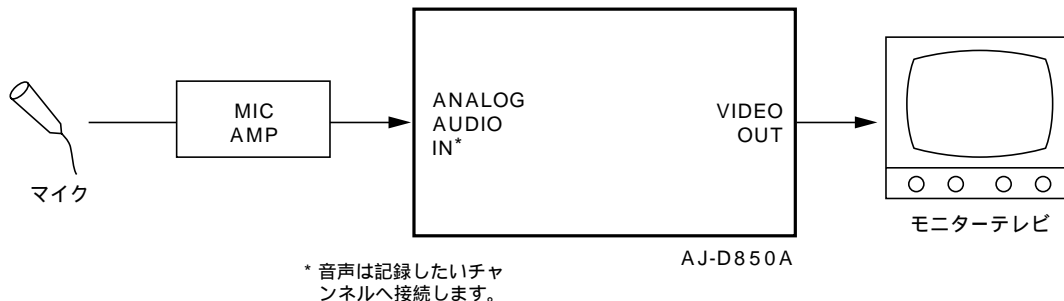
マッチフレーム処理機構について

VTR2台でオーディオスプリット編集操作の場合、ビデオの編集点としてプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点と、オーディオの編集点としてプレーヤ側にオーディオIN/OUT点、レコーダ側にオーディオIN/OUT点の合計8つの編集点があります。8点のうち5点の編集点を登録すると、残りの3点は自動的に計算されますので、編集点の登録は5点まで可能となります。

< ノート >

オーディオスプリット編集時、オーディオOUT点(またはビデオOUT点)を登録せずに、ビデオIN点(またはオーディオIN点)のみ登録し、自動編集を実行すると、オーディオOUT(またはビデオOUT点)点が登録されるか、STOPボタンを押して操作を中断するまで編集を続けます。

ヴォイスオーバー（内蔵）



操作1

- 1 セットアップメニューNo.322 (AUD MEM MODE) で「INT_VO」を選択します。
- 2 音声を記録したいチャンネル (CH1またはCH2) とセットアップメニューNo.323 (AUD MEM CH) のチャンネルを同一に設定します。
- 3 ヴォイスオーバーを行いたいカセットテープを挿入します。
- 4 音声を記録したいチャンネル (CH1あるいはCH2) のインサートボタンを押してランプを点灯します。
- 5 PLAYボタンを押します。
- 6 モニターテレビを見ながら、ヴォイスオーバーを希望する位置 (IN点) を探します。
- 7 IN点でINとSETボタンを同時に押します。
- 8 記録したい音声信号を、2で選んだチャンネルに入力します。
- 9 モニターテレビを見ながらヴォイスオーバーを終了する位置 (OUT点) を探します。
- 10 OUT点でOUTとSETボタンを同時に押します。記録したい音声信号がメモリーに書込まれました。
- 11 STOPボタンを押します。
- 12 AUTO EDITボタンを押して編集を実行します。メモリーに書込まれた音声信号がメモリーからカセットテープに記録されます。

< ノート >

AUTO EDITボタンを押す前にSETボタンを押しながら、PREVIEWボタンを押すと、編集前の確認 (プレビュー) が行えます。

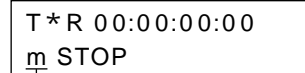
ヴォイスオーバー（内蔵）

操作2

- 1 セットアップメニューNo.322（AUD MEM MODE）で「INT_VO」を選択します。
- 2 音声を記録したいチャンネル（CH1またはCH2）とセットアップメニューNo.323（AUD MEM CH）のチャンネルを同一に設定します。
- 3 ヴォイスオーバーを行いたいカセットテープを挿入します。
- 4 音声を記録したいチャンネル（CH1あるいはCH2）のインサートボタンを押してランプを点灯します。
- 5 ヴォイスオーバーを希望する位置のIN点とOUT点を登録します。
- 6 PREVIEWボタンを押します。
- 7 モニターテレビを見ながらIN点からOUT点の間に記録したい音声信号を2で選んだチャンネルに入力します。記録したい音声信号がメモリーに書込まれます。
- 8 AUTO EDITボタンを押して編集を実行します。メモリーに書込まれた音声信号がメモリーからカセットテープに記録されます。

<ノート>

AUTO EDITボタンを押す前にSETボタンを押しながら、PREVIEWボタンを押すと、編集前の確認（プレビュー）が行えます。



T*R 00:00:00:00
m STOP

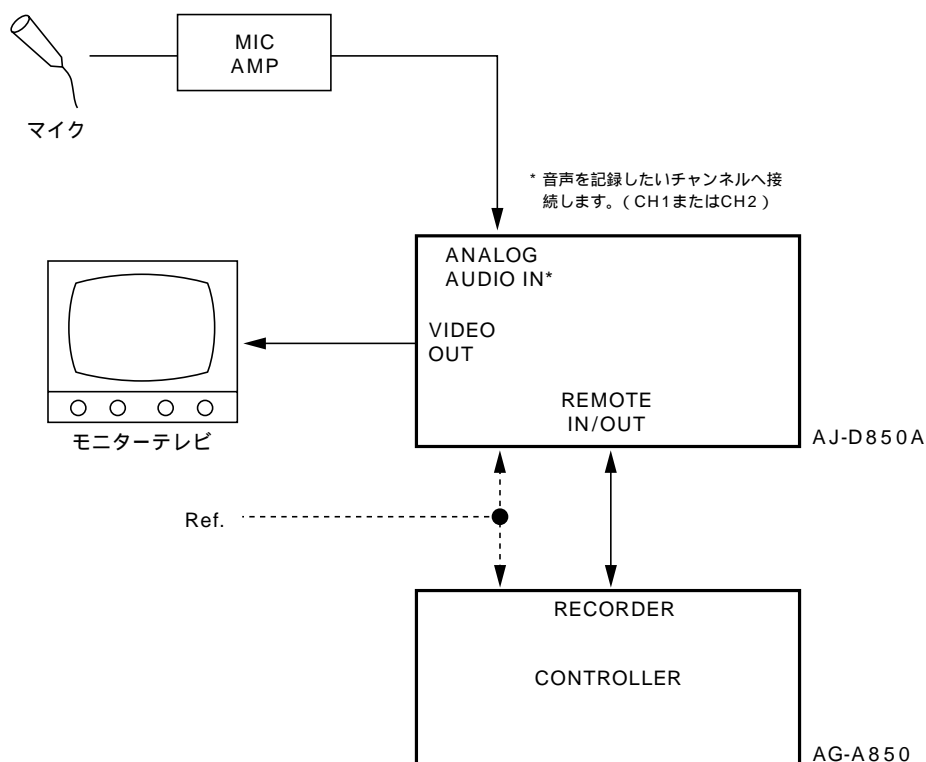
内蔵メモリーを使う編集モード表示

<ノート>

メモリーの容量

- 本機に内蔵しているメモリーは、最大20秒間の音声記録できます。20秒以上の音声メモリーの書込みを行っても、20秒を超えた音声信号はメモリーには書込めませんのでご注意ください。
- セットアップメニューNo.322（AUD MEM MODE）で、内蔵メモリーを使用する設定（INT_VO）、（INT_X）を選択すると、「m」がフロントパネルとモニターテレビにスーパーインポーズ表示され、内蔵メモリーを使う編集モードであることを表示します。

編集コントローラ（AG-A850）で操作する場合



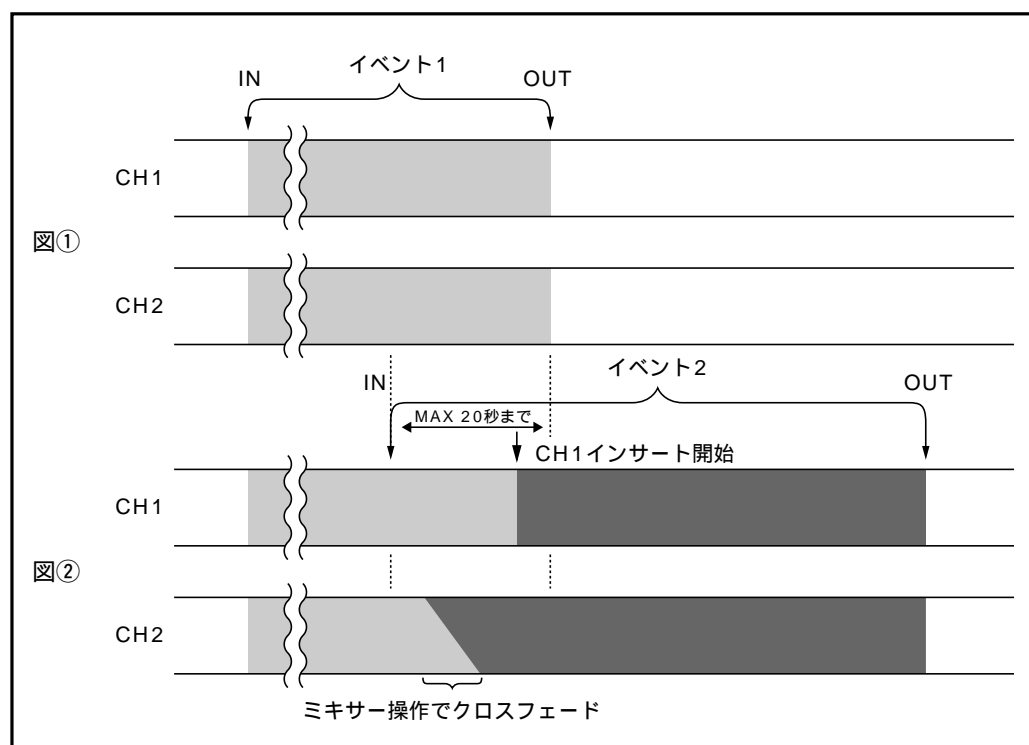
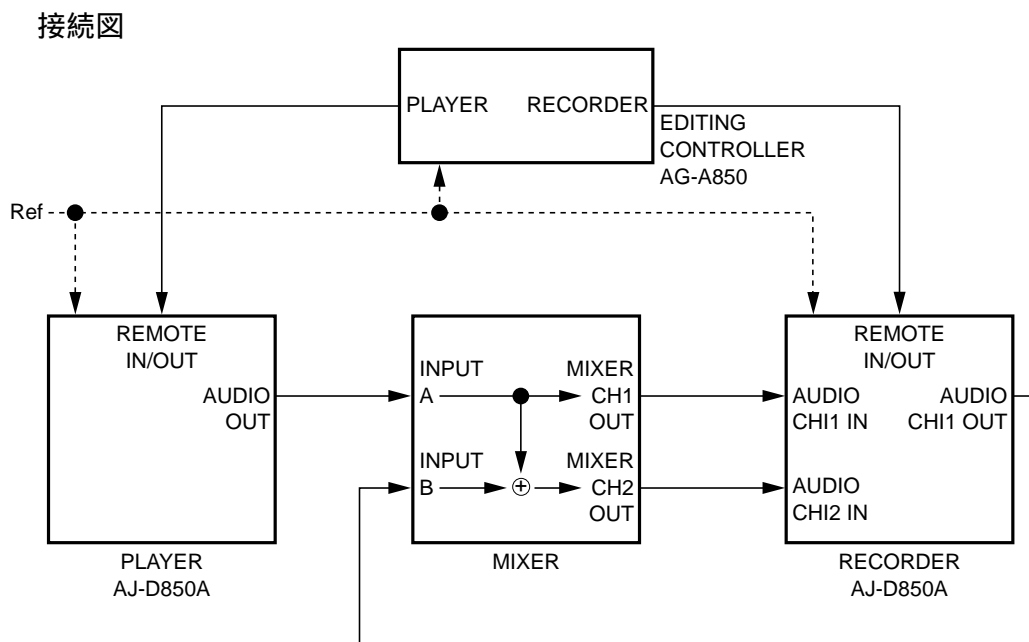
- 1 セットアップメニューNo.322 (AUD MEM MODE) で「INT_VO」を選択します。
- 2 音声を記録したいチャンネル (CH1またはCH2) とセットアップメニューNo.323 (AUD MEM CH) のチャンネルを同一に設定します。
- 3 VTRにヴォイスオーバーを行いたいカセットテープを挿入します。
- 4 VTRのCONTROL SWを「REMOTE」にします。
- 5 コントローラのSOURCE選択を「AUX1」にします。
- 6 音声を記録したいチャンネル (CH1あるいはCH2) のインサートボタンを押します。
- 7 ヴォイスオーバーを希望する位置のIN点とOUT点を登録します。
- 8 PREVIEWボタンを押します。
- 9 モニターテレビを見ながら、IN点からOUT点の間に記録したい音声信号を6で選んだチャンネルに入力します。記録したい音声信号がメモリーに書込まれます。
- 10 AUTO EDITボタンを押して編集を実行します。メモリーに書込まれた音声信号がメモリーからカセットテープに記録されます。

< ノート >

AG-A850の詳しい取り扱い、AG-A850の取扱説明書を参照してください。

オーディオクロスチャンネル編集（内蔵）

例) CH2にクロスフェードした音声信号を記録する場合



- 1 セットアップメニューNo.322 (AUD MEM MODE) で「INT_X」を選択します。
- 2 セットアップメニューNo.323 (AUD MEM CH) で「CH2」を選択します。
- 3 インサート編集でCH1とCH2を選択します。
<ノート>
ビデオも編集を行う場合は、VIDEOも選択します。

-
-
- 4 PLAYER側の最初のイベントの編集点を登録します。
 - 5 RECORDER側の最初のイベントの編集点を登録します。
 - 6 ミキサーを操作して、PLAYER出力の音声信号がミキサーのCH1 OUTとCH2 OUTから出力されるようにします。(ミキサーのCH1出力とCH2出力は同じ音声信号です。)
 - 7 AUTO EDITボタンを押します。RECORDER側に最初のイベントが記録されます。(図①参照)
この時メモリーにはOUT点前20秒(メモリー容量分)の音声信号が書込まれています。
 - 8 CH1のインサートを解消し、CH2のインサートのみにします。
<ノート>
ビデオも編集を行う場合は、VIDEOも選択します。
 - 9 PLAYER側の次のイベントの編集点を登録します。
 - 10 RECORDER側の次のイベントの編集点を登録します。
<ノート>
IN点は前のイベントのOUT点よりも前で、前のイベントのOUT点の - 20秒より後に設定します。(クロスフェード時間以上)
 - 11 ミキサーを操作して、ミキサーのCH1 OUTからはPLAYER出力の音声信号が、ミキサーのCH2 OUTからはRECORDER(本機の)CH1 OUTの音声信号が出力されるようにします。(RECORDER(本機の)CH1 OUTの信号は内蔵メモリーからの音声信号です。)
 - 12 AUTO EDITボタンを押します。
 - 13 IN点よりミキサーを操作して、ミキサーのCH2 OUTについてRECORDER CH1 OUTの音声信号からPLAYER出力の音声信号へ徐々に変化させます。(クロスフェード)
 - 14 ミキサーのCH2出力信号がPLAYER出力の音声信号に切り変わった後、CH1のインサートボタンを押します。OUT点でSTOP状態になりますが、メモリーにはOUT点前20秒(メモリー容量分)の音声信号が書込まれています。(図②参照)
 - 15 編集を続ける場合は再度8からの動作を行います。

<ノート>

オーディオメモリーユニット(AJ-YA752、別売品)を使用して、ヴォイスオーバー/オーディオクロスチャンネル編集を行う場合、まず以下の本体(AJ-D850A)の設定を行ってください。

1. セットアップメニューNo.322(AUD MEM MODE)で「AMU_X」または「AMU_VO」のいずれかを選択します。
2. オーディオクロスチャンネル編集の場合、セットアップメニューNo.323(AUD MEM CH)で記録するチャンネルを設定します。
3. AJ-YA752の取扱説明書を参考にして操作を行ってください。

Vプランキングデータの記録・再生

追加ライン記録再生機能

- セットアップメニューNo.800 (ADD LINE) で記録する追加ラインのモードを選択します。
OFF : 追加ラインを記録しません。
YC422 : 入力信号を422モードで1ライン記録します。
YC411 : 入力信号を411モードで1ライン記録します。
Y1_B/W : 入力信号をそのまま輝度信号として1ライン記録します。
Y1_BPF : 入力信号をY/C分離し、輝度信号のみを1ライン記録します。
C1 : 入力信号をY/C分離し、クロマ信号のみを1ライン記録します。
Y2_B/W : 入力信号をそのまま輝度信号として2ライン記録します。
Y2_BPF : 入力信号をY/C分離し、輝度信号のみを2ライン記録します。
C2 : 入力信号をY/C分離し、クロマ信号のみを2ライン記録します。
- サブメニュー画面にて、記録する追加ラインを選択します。
- 記録する追加ラインのモードによって、テレテキスト信号の記録可能なライン数が異なります。

テレテキスト信号記録再生機能

- 入力されたテレテキスト信号を1フレーム当たり最大26ライン分記録・再生することができます。
- 記録できるライン数はセットアップメニューNo.800 (ADD LINE) の設定によって異なります。
- セットアップメニューNo.800 (ADD LINE) の設定によっては、入力されたテレテキスト信号のすべてのラインを記録することができない場合があります。
- 各モードの記録可能な1フレーム当たりのライン数です。

モード	追加ライン	テレテキスト信号
OFF	0ライン/フレーム	26ライン/フレーム
YC422	1ライン/フレーム	10ライン/フレーム
YC411	1ライン/フレーム	16ライン/フレーム
Y1_B/W	1ライン/フレーム	26ライン/フレーム
Y1_BPF	1ライン/フレーム	26ライン/フレーム
C1	1ライン/フレーム	26ライン/フレーム
Y2_B/W	2ライン/フレーム	10ライン/フレーム
Y2_BPF	2ライン/フレーム	10ライン/フレーム
C2	2ライン/フレーム	10ライン/フレーム

< ノート >

Vプランキングデータの記録・再生機能において、記録可能なライン数には一部制限があります。

ビデオ出力信号（エンコーダー出力）の調整

編集機を使用したABロール編集（2台のソース機を使った編集）などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続後にビデオ出力信号（ENCODER OUT）を調整する必要があります。

（この調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えるごとに調整しなおす必要があります。）本機で調整する場合は以下のようにします。

- 1 接続を確認します。（26ページ参照）
- 2 フロントパネル下部のREMOTE/LOCALスイッチ⁴⁹を調整する位置（LOCAL）に切換えます。
REMOTE：外部のエンコーダーリモートコントローラでビデオ出力信号を調整します。
LOCAL：本機でビデオ出力信号を調整します。
- 3 ソース機単体で調整します。


3-1 プリセット値を使用する場合、
VIDEO LEVEL、CHROMA LEVEL、SETUP、HUE、の各PRESET/MANUALスイッチを「PRESET」にします。

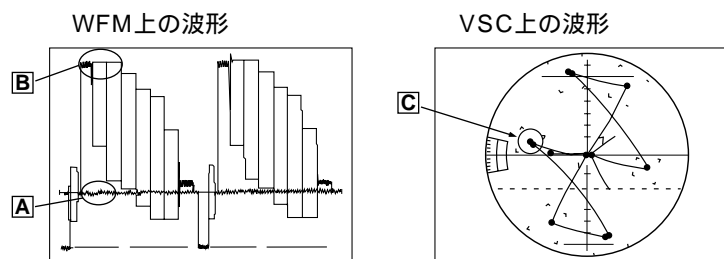
3-2 PRESET値を使わずに、ビデオ出力信号を調整する場合

- 1 標準カラーバーの記録されているカセットテープを再生します。
- 2 ウェーブフォームモニター（WFM）、ベクトルスコープ（VSC）が以下のようになるように各ボリュームを調整します。

A セットアップレベル
ズレをなくすように調整します。

B ビデオレベル
100IREに調整します。

C クロマレベル・ヒュー
二つのボリュームを調整して  マークに各ベクトル波形の光点を入れます。



- 4 接続しているソース機を同じように調整します。

セットアップ（初期設定）

本機的主要な設定はメニュー方式で選択しながら行います。

モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT 3端子と接続している場合はテレビに設定メニューが出ます。

設定の変更

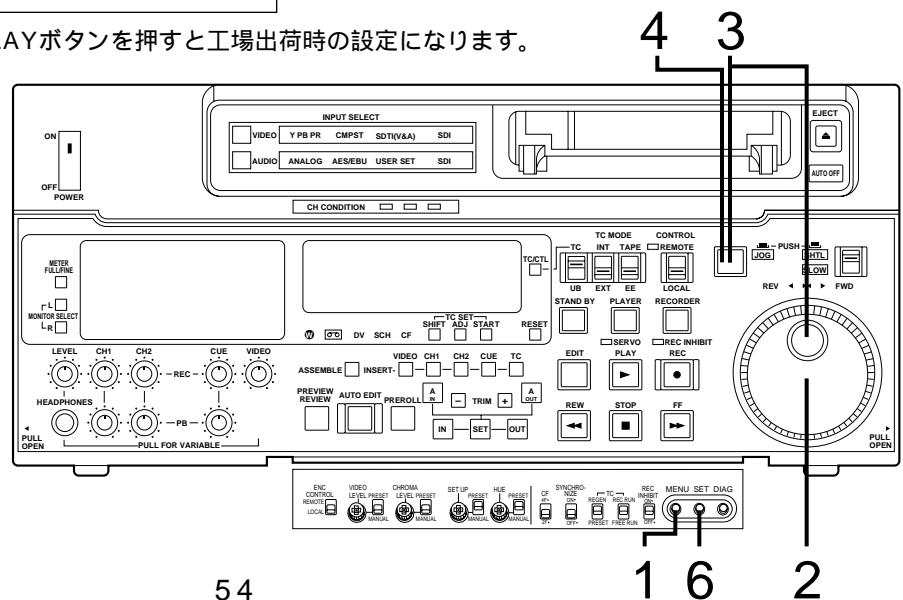
- 1 MENUボタンを押します。
モニターテレビにセットアップメニューの画面が、カウンタ表示部にセットアップメニューの項目No.がそれぞれ表示されます。
(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)
- 2 サーチダイヤルを回して、設定する項目を選びます。
メニュー画面のカーソル(＊)が移動し、ディスプレイの項目No.が点滅します。
 - 右に回すと項目No.が001 002 003 004 のように増加し、左に回すと減少します。
 - PLAYボタンを押しながらFFまたはREWボタンを押すと、次または前の項目に切り替わります。
 - サーチダイヤルはできるだけJOGモードでご使用ください。
- 3 変更する位置で、サーチボタンを押しながら、サーチダイヤルを回します。
メニュー画面およびディスプレイの設定値が点滅します。
ダイヤルを右に回すと設定No.が増加し、左に回すと減少します。
- 4 設定が終了すると、サーチボタンを離します。
項目No.が点滅します。
 - サーチダイヤルがSHTLモードのときは、静止にしないと項目が移動します。
- 5 変更する項目がある場合、2～4 を繰り返します。
- 6 SETボタンを押します。
変更した内容は記憶されます。
設定した内容を変更前に戻す場合は、MENUボタンを押します。
 - セットアップの内容を工場出荷（初期設定）に戻すときは、メニューが表示されているときにRESETボタンを押します。以下のメッセージが出ます。

SETUP-MENU INIT SET
YES<PLAY>/NO<STOP>

PLAYボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

<ノート>

- RESETボタンを押して工場出荷設定に戻す時は、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEMメニューの内容は、MENUボタンを押しても変更内容が記録されます。

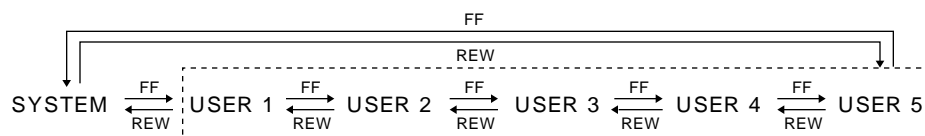


セットアップメニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中からいずれか1つを選択して使用することができます。

ファイルの変更

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらFFボタンを押すと、次のユーザーファイルに切り替わります。STAND BYボタンを押しながらREWボタンを押すと、前のユーザーファイルに戻ります。



ユーザーファイル

各ユーザーファイルには下の項目があります。

- BASIC
- OPERATION
- INTERFACE
- EDIT
- TAPE PROTECT
- TIME CODE
- VIDEO
- AUDIO
- V BLANK
- MENU

- 3 ステップ2の操作で使用するユーザーファイルを決定すると、SETボタンを押します。ユーザーファイルを変更して記憶します。

<ノート>

SYSTEMメニューの項目は、ユーザーファイルの1～5の中には含まれないのでユーザーファイルの切り換えを行い、SYSTEMファイルに切り換えた後、SYSTEMメニューの項目を設定してください。

セットアップメニュー

システムファイルおよびユーザーファイル (USER2 ~ USER5) の設定内容を保護するために、ロックモードの設定ができます。ロックモードを設定すると、設定内容の変更ができなくなります。

ロックモードの設定および解除は、システムファイルはセットアップメニューNo.30 (MENU LOCK)、ユーザーファイルはセットアップメニューNo.A03 (MENU LOCK) で設定できます。

ロックモードの設定および解除

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、ロックモードを設定または解除するファイルを選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル (*) をシステムファイルはNo.30 (MENU LOCK) へ、ユーザーファイルはNo.A03 (MENU LOCK) へ移動します。
- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、ロックモードの設定および解除を選択します。
ロック設定：設定値を0001 (ON) に設定します。
ロック解除：設定値を0000 (OFF) に設定します。

ロック設定されている場合、メニュー画面上に「LOCKED」を点滅表示します。また、カウンタ表示部が点滅表示から点灯表示になります。

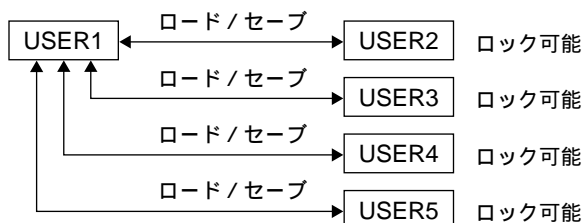
SETUP-MENU	LOCKED
<USER2>	NO.000 - 0005
*000 P-ROLL TIME	5s
001 CHARA H-POS	5
002 CHARA V-POS	23
003 DISPLAY SEL	T&STA
004 LOCAL ENA	ST&EJ
005 TAPE TIMER	±12h
006 SUPER	ON
007 CHARA TYPE	WHITE
008 REMAIN SEL	OFF

- 5 SETボタンを押します。設定内容が記憶されます。

< ノート >

- USER1はロックモードの設定はできません。
- ロックモードに設定されているファイルは、RESETボタンを押しても工場出荷値へのリセット操作はできません。

USER2 ~ USER5の内容をUSER1へ複写（ロード）することができます。また、USER1の内容をUSER2 ~ USER5へ複写（セーブ）することができます。



ユーザーファイルのロード

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル（*）をNo.A00（LOAD）へ移動します。

```

SETUP-MENU  MENU
<USER1>     NO.A00 - 0000
803 TELETEXT DET  AUTO
*A00 LOAD      USER2
A01 SAVE      USER2
A02 P.ON LOAD  OFF
END
  
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、USER1へロードするユーザーファイルを選択します。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```

SETUP-MENU LOAD

USER2      USER1 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
  
```

カウンタ表示部

```

TCR 00:00:00:00
SETUP LOAD U-2 →U-1
  
```

■の部分は4.の操作で選択されたユーザーファイルNO.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。4.の操作で選択されたユーザーファイルの設定値がロードされてUSER1のメニュー表示となります。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回し、メニュー画面中のカーソル（*）をNo.A00（LOAD）、No.A01（SAVE）以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

セットアップメニュー

ユーザーファイルのセーブ

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル(＊)をNo.A01(SAVE)へ移動します。

```
SETUP-MENU  MENU
<USER1>     NO.A00 - 0000
 803 TELETEXT DET  AUTO
 A00 LOAD                USER2
 *A01 SAVE              USER2
 A02 P.ON LOAD          OFF
 END
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤル回し、USER1の内容をセーブするユーザーファイルを選択します。このとき、ロックモードに設定されているユーザーファイルは表示されません。すべてのユーザーファイルがロックモードに設定されている場合は、“LOCKED”表示となりセーブ操作はできません。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU SAVE

USER1  USER2 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

カウンタ表示部

```
TCR 00:00:00:00
SETUP SAVE U-1 → U-2
```

の部分には4.の操作で選択されたユーザーファイルNO.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。USER1の内容が4.の操作で選択されたユーザーファイルへセーブされて記憶されます。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル(＊)をNo.A00(LOAD) No.A01(SAVE)以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

電源投入時のユーザーファイルの自動呼出し

セットアップメニューNo.A02(P.ON LOAD)でロードするユーザーファイルを予め選択しておくと、電源を投入したとき自動的にそのファイルをUSER1へロードすることができます。

SYSTEMメニュー

< SYSTEM >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
00	SYS SC	0000 ゝ 0127 ゝ 0255	- 127 ゝ 0 ゝ 128	システム位相調整：トータル可変範囲±180°以上 -：進み +：遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
01	SYS H	0000 ゝ 0030 ゝ 0060	- 30 ゝ 0 ゝ 30	システム位相調整：SC周期単位（280nsステップ） -：進み +：遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
02	VIDEO PHASE	0000 ゝ 0032 ゝ 0064	- 32 ゝ 0 ゝ 32	ビデオ位相調整：148nsステップ -：進み +：遅れ
03	YC COARSE	0000 ゝ 0002 ゝ 0004	- 2 ゝ 0 ゝ 2	YCタイミング粗調整：148nsステップ -：進み +：遅れ
04	YC FINE	0000 ゝ 0002 ゝ 0004	- 2 ゝ 0 ゝ 2	YCタイミング微調整：37nsステップ -：進み +：遅れ (デジタルOUTオプションのYCは変化しません。)
05	SCH COARSE	0000 0001 0002 0003	0 90 180 270	SCH位相調整：90°単位 -：進み +：遅れ (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)
06	SCH FINE	0000 ゝ 0128 ゝ 0255	- 128 ゝ 0 ゝ 127	SCH位相調整：トータル可変範囲±45°以上 (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)
07	Pb OUT LV	0000 ゝ 0124 ゝ 0247	- 124 ゝ 0 ゝ 123	コンポーネントPb出力レベル調整：トータル可変範囲 ±3dB
08	Pr OUT LV	0000 ゝ 0124 ゝ 0247	- 124 ゝ 0 ゝ 123	コンポーネントPr出力レベル調整：トータル可変範囲 ±3dB
10	AV PHASE	0000 ゝ 0128 ゝ 0255	- 128 ゝ 0 ゝ 127	映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。 ：20.8μsステップ -：映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 +：映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

SYSTEMメニュー

< SYSTEM > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
20	SYS H RANGE	0000 0001	FULL FINE	ENCODER REMOTE接続時のSYSTEM Hの可変範囲を選択します。 0 : ± 8 μ sec (± 30ステップ) 1 : - 1.9 ~ + 2.7 μ sec (- 7 ~ + 10ステップ) < ノート > 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
21	SYS H OFFSET	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006	- 3 - 2 - 1 0 1 2 3	システム位相調整 : 4.48 μ secステップ 0 : - 13.4 μ sec 1 : - 8.96 μ sec 2 : - 4.48 μ sec 3 : 0 sec 4 : + 4.48 μ sec 5 : + 8.96 μ sec 6 : + 13.4 μ sec < ノート > 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
30	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	システムファイルのロックモードの設定 / 解除を選択します。 0 : ロック解除 (変更可能) 1 : ロック設定 (変更禁止)

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< BASIC >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
000	P-ROLL TIME	0000 ⋮ 0005 ⋮ 0015	OS ⋮ 5S ⋮ 15S	プリロール時間を設定します。 0秒～15秒の間で1秒単位で設定できます。 < ノート > VTR本体での自動編集 [PREVIEW、AUTO EDIT]時は プリロール時間が0秒に設定されていると動作しません。
001	CHARA H-POS	0000 ⋮ 0005 ⋮ 0011	0 ⋮ 5 ⋮ 11	VIDEO OUT 3 端子のタイムコード等のスーパー表示の 水平方向文字位置を設定します。 < ノート > 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT 3へ出力します。ただし、 MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従 います。 また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態でVIDEO OUT 3へ出力します。 2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す 場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出 ない位置に表示します。
002	CHARA V-POS	0000 ⋮ 0018 ⋮ 0022	0 ⋮ 18 ⋮ 22	VIDEO OUT 3 端子のタイムコード等のスーパー表示の 垂直方向文字位置を設定します。 < ノート > 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT 3へ出力します。ただし、 MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従 います。 また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態でVIDEO OUT 3へ出力します。 2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す 場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出 ない位置に表示します。
003	DISPLAY SEL	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006	TIME T&STA T&S&M T&RT T&YMD T&MDY T&DMY	VIDEO OUT 3 端子のタイムコード等のスーパー表示の 表示内容を選択します。 0 : 時間のみ 1 : 時間および動作モード 2 : 時間、動作モードおよびモード 3 : 時間およびREC TIME 4 : 時間およびREC DATE (年月日) 5 : 時間およびREC DATE (月日年) 6 : 時間およびREC DATE (日月年) < ノート > ● モード表示は、DVC PROフォーマット時は、 DVC PRO MODE表示。 DVフォーマット時は、DV MODE表示。 ● 3 (T & S & M) 設定時に、ワーニングまたはエラーが 発生した場合、エラーメッセージを表示します。 ● REC TIMEおよびREC DATEはDVフォーマット再生 時のみ表示します。DVC PROフォーマット時は動作 モードを表示します。
004	LOCAL ENA	0000 0001 0002	DIS ST&EJ ENA	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、フロ ントパネルで操作可能なボタンを選択します。 0 : 全て不可 1 : STOP、EJECTボタンのみ可能 2 : RECORDER、PLAYERボタン以外全て可能

— は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< BASIC > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
005	TAPE TIMER	<u>0000</u> 0001	<u>± 12h</u> 24h	CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。 0： 12時間表示 1： 24時間表示
006	SUPER	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	VIDEO OUT 3 端子にタイムコード等のスーパー表示を行うかどうかを選択します。 0： 表示しません。 1： 表示します。
007	CHARA TYPE	<u>0000</u> 0001	<u>WHITE</u> W/OUT	VIDEO OUT 3 端子のスーパーおよび、SETUP-MENU等の表示タイプを選択します。 0： 白文字で、背景は黒 1： 白文字で、黒のふちどり
008	REMAIN SEL	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	フロントのREMAIN (テープ残量時間) を表示するかどうかを選択します。 0： 表示しません。 1： フロントに表示します。また、セットアップメニューNo.003 (DISPLAY SEL) でT&S&Mを選択されている場合は、VIDEO OUT 3端子のスーパー表示の3行目にモード表示の代わりに表示します。 < ノート > 1 (ON) を選択した場合であっても、EJECTおよびカセットイン後でテープ残量の計算を行っている間は、表示されません。
009	SETUP NUMBER	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	フロントにSETUP-MENUのNo.表示を行うかどうかを選択します。 0： 表示しません。 1： 表示します。
010	MONI CONTROL	<u>0000</u> 0001	<u>MANU</u> AUTO	デッキ対デッキ編集時、モニタがレコーダ側だけに接続されている場合、レコーダ側のPLAYERボタンを押すことにより、強制的にレコーダをEEモードにし、プレーヤの再生信号をモニタに出力するかどうかを設定します。 0： 強制的にEEモードにはなりません。 1： 強制的にEEモードになり、プレーヤの再生信号が出力されます。

___ は工場出荷モードです。

USERメニュー

< OPERATION >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
100	SEARCH ENA	0000 0001	___DIAL KEY	ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。 0：ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。 1：サーチボタンを押さないとサーチモードに移りません。
101	SHTL MAX	0000 0001 0002	X16 ___X32 X60	シャトル動作の最大速度を設定します。 0：X16倍速 1：X32倍速 2：X60倍速 <ノート> DVフォーマットの場合は、「X60」を選択した場合でもX32になります。
102	FF. REW MAX	0000 0001 0002	X32 ___X60 X100	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0：X32倍速 1：X60倍速 2：X100倍速 <ノート> DVフォーマットの場合は、本設定に関係なくX32になります。
103	AUDIO MUTE	0000 0001	___OFF ON	STOPまたはサーチからPLAYに移行したとき、音声信号が出力されるまでの状態を設定します。 0：音声出力されるまでの時間が短くなります。 1：完全な状態になってから音声出力します。 <ノート> 0（OFF）に設定した場合、出力される最初の部分は不完全な音になるため、放送用に使用することはおすすりできません。
104	REF ALARM	0000 0001	OFF ___ON	REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。 0：表示しません。 1：STOPランプを点滅させることで警告表示します。
105	AUTO EE SEL	0000 0001 0002	___S/F/R STOP BLACK	TAPE/EE SWがEEの時、EE状態になるVTRのモードを選択します。 0：STOP、FF、REWの時、EE状態になります。 但し、EJECTは、TAPE/EE SW状態に関係なく常にEE状態になります。 1：STOPの時のみ、EE状態になります。 但し、EJECTは、TAPE/EE SW状態に関係なく常にEE状態になります。 2：STOPの時のみ、EE状態になります。 但し、EJECTは、TAPE/EE状態により EE時：EE状態になります。 TAPE時：映像系は、BLACK状態になります。 音声系は、ミュート状態になります。
106	PLAY DELAY	0000 〃 0015	___0 〃 15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

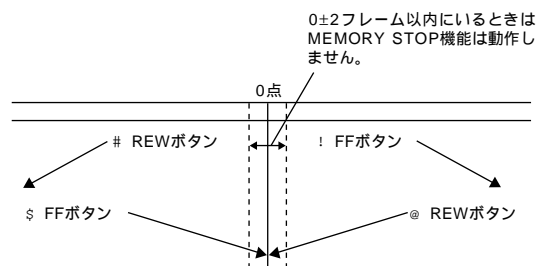
USERメニュー

< OPERATION > (つづき)

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
108	FORMAT SEL	0000 0001	DVCPRO DV	Lカセット使用時のフォーマットを選択します。 0 : DVCPROモード 1 : DVモード < ノート > 選択したフォーマットと逆のテープを挿入すると、再生以外に以下の不具合がありますのでご注意ください。 1. DVCPROモード選択で、DVカセットを挿入すると、記録動作を行います。性能等の保証はできません。 また、逆のDVモードでDVCPROカセットを挿入すると、記録できません。 2. REMAIN表示が正確に出ません。 3. テープ始端、終端近傍でのスローダウン位置が正確に出ません。 4. その他、フォーマットの異なるテープを挿入した場合、性能等の保証はできません。
112	AUTO REW	0000 0001	OFF ON	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0 : テープ終端で停止します。 1 : テープ始端まで巻き戻します。
113	MEMORY STOP	0000 0001	OFF ON	CTLモードのFFおよびREW動作において、カウンタ値が0の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。 0 : VTRは停止しません。 1 : VTRは自動的に停止します。 < ノート > 1. 停止モードは、セットアップメニューNo.313(AFTER CUE-UP)の設定により停止または静止画(SHTL STILL)モードとなります。 2. AUTO REW機能とMEMORY機能が同時に選択されている場合、AUTO REW機能が優先となります。
115	STOP RESPNS	0000 0001	NORMAL QUICK	テープ走行中からSTOP/STILLモードへ移行する際の応答性を選択します。 0 : 出力画を重視します。 1 : 応答性を重視します。 < ノート > 1 (QUICK)の設定の場合、STOP/STILL時に ● 0 (NORMAL)設定のようなきれいな画像にはならない場合があります。 ● CTLが±2フレームずれることがあります。

— は工場出荷モードです。

MEMORY STOP機能説明



- 1 FFボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のFF動作になります。
- 2 REWボタンを押した場合、PREROLLランプ (SHTLランプも点灯) が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。
- 3 REWボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のREW動作になります。
- 4 FFボタンを押した場合、PREROLLランプ (SHTLランプも点灯) が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。

USERメニュー

< OPERATION > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
116	EE MODE SEL	0000 0001	<u>NORMAL</u> THRU	<p>EEモード時の出力信号を選択します。</p> <p>0： 内部でデジタル信号処理した時間分、遅延した信号を出力します。</p> <p>1： 内部でデジタル信号処理を加えず、信号を出力します。</p> <p>< ノート ></p> <ul style="list-style-type: none"> 編集モード選択時、ビデオの入力信号選択において、SDTIを選択した時、ビデオまたはオーディオにおいてINTSGを選択した時は、内部動作は強制的に「NORMAL」になります。 EEモード時の出力信号はモニター用としてご使用ください。
117	FRZ MODE SEL	0000 0001 0002	<u>DIS</u> STBOFF SOF&EJ	<p>再生画像からのSTANDBY OFFモードおよびEJECTモードでの出力画像を選択します。</p> <p>0： 映像出力をミュートします。</p> <p>1： STANDBY OFFモード時のみ、その時点での再生画をフリーズして出力します。</p> <p>2： STANDBY OFFモードおよびEJECTモード時、その時点での再生画をフリーズして出力します。</p> <p>< ノート ></p> <ul style="list-style-type: none"> フリーズ時の状態は、セットアップメニューNo.608 (FREEZE SEL) の設定に従います。 EJECTモードは、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) が、2 (BLACK) 設定時のみフリーズ画を出力します。

— は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< INTERFACE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
200	PARA RUN	0000 0001	___ DIS ENA	2台以上のVTRを同期運転させるかを選択します。 0：同期運転させません。 1：同期運転させます。 <ノート> 同期運転させる場合は、全てのVTRの項目200「1」に設定します。
201	9P SEL	0000 0001	OFF ___ ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、9P端子が機能するかどうかを選択します。 0：機能しません。 1：機能します。
202	ID SEL	0000 0001	___ OTHER DVCPRO	コントローラに返すID情報を選択します。 0：20 25H 1：DVCPROの独自のID (F0 33H) を返します。
203	25P SEL	0000 0001	___ OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、PARALLEL (25P) 端子が機能するかどうかを選択します。 0：機能しません。 1：機能します。
204	RS232C SEL	0000 0001	___ OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、RS-232C端子が機能するかどうかを選択します。 0：機能しません。 1：機能します。
205	BAUD RATE	0000 0001 0002 0003 0004 0005	300 600 1200 2400 4800 ___ 9600	RS-232Cの通信速度 (ボーレート) を設定します。
206	DATA LENGTH	0000 0001	7 ___ 8	RS-232Cのデータ長を設定します。(単位: BIT)
207	STOP BIT	0000 0001	___ 1 2	RS-232Cのストップビット長を設定します。(単位: BIT)
208	PARITY	0000 0001 0002	___ NON ODD EVEN	RS-232Cのパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0：パリティビットを使用しない。 1：パリティビットを奇数パリティで使用する。 2：パリティビットを偶数パリティで使用する。
209	RETURN ACK	0000 0001	OFF ___ ON	RS-232Cからのコマンド受信時、ACKコードを送信するかしないかを設定します。 0：ACKコードを送信しない。 1：ACKコードを送信する。
210	25P STBY CMD	0000 0001	___ OFF/ON ON	PARALLEL (25P) 端子におけるSTANDBY COMMANDの信号入力検出方法を選択します。 0：アクティブ信号を検出する毎に、STANDBY ON/OFFモードが交互に切り替わります。 1：STANDBY OFFモードにおいて、アクティブ信号を検出した場合、STANDBY ONモードへ移行します。STANDBY ONモード中の動作には影響しません。

___ は工場出荷モードです。

USERメニュー

< EDIT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
301	IN/OUT DEL	0000 0001	MANU AUTO	編集点を誤って設定したとき（OUT点がIN点より前にあるとき）の動作を選択します。 0： 不正な編集点を削除するか、正しく設定し直さないと編集を実行しません。 1： あらかじめ入力されていた編集点を自動的に削除します。
302	NEGA FLASH	0000 0001	OFF ON	IN点がOUT点より大きい時、ネガティブ表示するかを選択します。 0： ネガティブ表示をしません。 1： ネガティブ表示をします。
303	STD/ NON-STD	0000 0001 0002	AUTO STD N-STD	コンポジット入力信号に合わせてSTDまたはNON-STDを選択します。 0： スタンダード/ノンスタンダード信号を自動検出して処理します。 1： スタンダード信号処理を行います。（強制STD） 2： ノンスタンダード信号処理を行います。（強制NON-STD）
304	SERVO REF	0000 0001	AUTO EXT	サーボの同期する信号を選択します。 0： 記録、編集時は入力信号に同期し、再生時はREF信号に同期します。 1： 常にREF信号に同期します。
305	EDIT RPLCE1	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1 + 2	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能のないコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。VTRのCH1のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0： 設定しません 1： アナログCH1エディットプリセットに従います。 2： アナログCH2エディットプリセットに従います。 3： アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。
306	EDIT RPLCE2	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1 + 2	セットアップメニューNo.305と同様に、VTRのCH2のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0： 設定しません 1： アナログCH1エディットプリセットに従います。 2： アナログCH2エディットプリセットに従います。 3： アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。
307	EDIT RPLCEC	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1 + 2	セットアップメニューNo.305と同様に、VTRのCUEのエディットプリセットをエディタ、またはコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0： 設定しません 1： アナログCH1エディットプリセットに従います。 2： アナログCH2エディットプリセットに従います。 3： アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

<EDIT> (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
308	CONFI EDIT	0000 0001	___ OFF ON	編集中に同時再生を行うかどうかを選択します。 0: 同時再生を行いません。 1: 同時再生を行います。 <ノート> TAPE/EE SWが「TAPE」側の場合に同時再生が有効になります。
309	AUD EDIT IN	0000 0001	___ CUT FADE	デジタルオーディオ編集IN点の繋ぎ方を選択します。 0: カット処理 1: Vフェード処理
310	AUD EDIT OUT	0000 0001	___ CUT FADE	デジタルオーディオ編集OUT点の繋ぎ方を選択します。 0: カット処理 1: Vフェード処理
311	AUTO ENTRY	0000 0001	___ DIS ENA	IN点が登録されていない場合に、PREROLLボタンでIN点を登録するかどうかを選択します。 0: 登録しません。 1: 登録します。
312	CF ADJ SEL	0000 0001	___ PLAYER RECORD	デッキ対デッキ編集時、CF補正するデッキを選択します。 0: PLAYERのIN/OUT点を補正します。 (RECORDER基準) 1: RECORDERのIN/OUT点を補正します。 (PLAYER基準)
313	AFTER CUE-UP	0000 0001	___ STOP STILL	キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。 0: STOPモードになります。 1: 静止画(SHTL STILL)モードになります。
316	VAR STEP	0000 0001	___ FINE COARSE	リモート操作時のVARの速度を選択します。 0: 細かいステップの速度で再生します。 1: -0.43~+1(-0.5~+1)倍速の範囲はノイズレス再生可能な速度で再生します。 <ノート> • ()内はDVモードの場合の速度です。 • 1(COARSE)の設定では編集コントローラからの調相ができません。
317	VAR FWD MAX	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008	___ +4.1 +1.85 +1 +0.75 +0.5 +0.3 +0.2 +0.1 +0.03	VAR FWDの最大速度を設定します。 0: +4.1(+3.1)倍速 1: +1.85(+1.85)倍速 2: +1(+1)倍速 3: +0.75(+0.5)倍速 4: +0.5(+0.5)倍速 5: +0.3(+0.3)倍速 6: +0.2(+0.2)倍速 7: +0.1(+0.1)倍速 8: +0.03(+0.03)倍速 <ノート> • ()内はDVモードの場合の速度です。 • DVモードの場合、フロントでのダイヤル操作時は最大+1倍速再生となります。 • 0(+4.1)以外の設定では編集コントローラからの調相ができません。

___ は工場出荷モードです。

USERメニュー

<EDIT> (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
318	VAR REV MAX	0000	<u> </u> - 4.1	VAR REVの最大速度を設定します。 0: - 4.1 (- 3.1) 倍速 1: - 1.85 (- 1.85) 倍速 2: - 1 (- 1) 倍速 3: - 0.43 (- 0.5) 倍速 4: - 0.3 (- 0.3) 倍速 5: - 0.2 (- 0.2) 倍速 6: - 0.1 (- 0.1) 倍速 7: - 0.03 (- 0.03) 倍速 <ノート> • ()内はDVモードの場合の速度です。 • DVモードの場合、フロントでのダイヤル操作時は最大 - 0.5倍速再生となります。
		0001	- 1.85	
		0002	- 1	
		0003	- 0.43	
		0004	- 0.3	
		0005	- 0.2	
		0006	- 0.1	
		0007	- 0.03	
319	JOG STEP	0000	FINE	リモート操作時のJOGの速度を選択します。 0: 細かいステップの速度で再生します。 1: - 0.43 ~ +1 (- 0.5 ~ +1) 倍速の範囲はノイズ レス再生可能な速度で再生します。 <ノート> • ()内はDVモードの場合の速度です。 • 1 (COARSE) の設定ではJOGコマンドにより調相 を行う編集コントローラからの調相ができません。
		0001	<u> </u> COARSE	
320	JOG FWD MAX	0000	+ 4.1	JOG FWDの最大速度を設定します。 0: + 4.1 (+ 3.1) 倍速 1: + 1.85 (+ 1.85) 倍速 2: + 1 (+ 1) 倍速 <ノート> • ()内はDVモードの場合の速度です。 • フロントでのダイヤル操作時は最大 + 1 倍速再生とな ります。 • 0 (+ 4.1) 以外の設定ではJOGコマンドにより調相 を行う編集コントローラからの調相ができません。
		0001	+ 1.85	
		0002	<u> </u> + 1	
321	JOG REV MAX	0000	- 4.1	JOG REVの最大速度を設定します。 0: - 4.1 (- 3.1) 倍速 1: - 1.85 (- 1.85) 倍速 2: - 1 (- 1) 倍速 3: - 0.43 (- 0.5) 倍速 <ノート> • ()内はDVモードの場合の速度です。 • フロントでのダイヤル操作時は、DVCPROモードで最 大 - 1倍速、DVモードで最大 - 0.5倍速再生となります。
		0001	- 1.85	
		0002	- 1	
		0003	<u> </u> - 0.43	

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

<EDIT> (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
322	AUD MEM MODE	0000	___OFF	オーディオメモリーユニットAJ-YA752または内蔵オーディオメモリーを用いてヴォイスオーバー/オーディオクロスチャンネル編集を行う設定をします。 0: ヴォイスオーバー/オーディオクロスチャンネル編集を行わない場合。 1: オーディオメモリーユニットAJ-YA752を用いて、オーディオクロスチャンネル編集を行う場合。 2: オーディオメモリーユニットAJ-YA752を用いて、ヴォイスオーバー編集を行う場合。 3: 内蔵のオーディオメモリーを用いて、オーディオクロスチャンネル編集を行う場合。 4: 内蔵のオーディオメモリーを用いて、ヴォイスオーバー編集を行う場合。 <ノート> ● 1 (AMU_X) または 2 (AMU_VO) に設定すると、RS-232Cインターフェースは機能しません。 ● オーディオメモリーユニットを用いた各モードの使用方法は、オーディオメモリーユニットAJ-YA752の取扱説明書をご参照ください。
		0001	AMU_X	
		0002	AMU_VO	
		0003	INT_X	
		0004	INT_VO	
323	AUD MEM CH	0000	CH1	オーディオメモリーユニットAJ-YA752または内蔵オーディオメモリーを用いて、ヴォイスオーバー/オーディオクロスチャンネル編集を行うチャンネルの設定をします。 0: CH1に記録を行う。 1: CH2に記録を行う。 <ノート> セットアップメニューNo.322 (AUD MEM MODE) を2 (AMU_VO) に設定している場合、本設定は関係しません。
		0001	CH2	
324	POSTROLL TM	0000	0s	ポストロール時間を設定します。 0秒~5秒の間で1秒単位で設定します。
		0001	1s	
		0002	2s	
		0003	3s	
		0004	4s	
		0005	5s	

___ は工場出荷モードです。

USERメニュー

< TAPE PROTECT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000	0.5s	STOP、サーチSTILL (JOG/VAR/SHTL) の状態で放置された時、テープ保護モードになるまでの時間を選択します。 (単位 s : 秒、min : 分) < ノート > 民生DVテープを使用する時は、10s以上選択しても10sで処理されます。 ただし、選択画面上は2minまで動作します。
		0001	5s	
		0002	10s	
		0003	20s	
		0004	30s	
		0005	40s	
		0006	50s	
		0007	1min	
	0008	2min		
401	SRC PROTECT	0000	STEP	サーチモード (JOG/VAR/SHTL) のSTILLの状態でのテープ保護モード時の動作を選択します。 0 : STEP FWD 1 : HALF LOADING < ノート > STEP FWDが選択されているときに、STILLの状態での合計時間が30分 (DVテープの場合は1分) になると、自動的にHALF LOADINGモードへ移行します。
		0001	HALF	
402	DRUM STDBY	0000	OFF	STANDBY OFFモード時のドラムの動作を選択します。 0 : ドラムの回転は停止します。 1 : ドラムは回転を続けます。
		0001	ON	
403	STOP PROTECT	0000	STEP	STOPの状態でのテープ保護モード時の動作を選択します。 0 : STEP FWD 1 : HALF LOADING < ノート > STEP FWDが選択されている時に、STOPの状態での合計時間が30分 (DVテープの場合は1分) になると、自動的にHALF LOADINGモードへ移行します。
		0001	HALF	

___ は工場出荷モードです。

STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。
- テープ保護の観点から、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えば、最大30秒程度に設定してください。

セットアップメニュー

USERメニュー

< TIME CODE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC POS-1	0000	10L	VITC信号の挿入位置を設定します。 (501: VITC POS-2と同じラインは選択できません。)
		0001	11L	
		0002	12L	
		0003	13L	
		0004	14L	
		0005	15L	
		0006	16L	
		0007	17L	
		0008	18L	
		0009	19L	
		0010	20L	
501	VITC POS-2	0000	10L	VITC信号の挿入位置を設定します。 (500: VITC POS-1と同じラインは選択できません。)
		0001	11L	
		0002	12L	
		0003	13L	
		0004	14L	
		0005	15L	
		0006	16L	
		0007	17L	
		0008	18L	
		0009	19L	
		0010	20L	
502	VITC BLANK	0000 0001	BLANK THRU	500: VITC POS-1、501: VITC POS-2で選択された位置にVITCデータを出力するかどうかを選択します。 0: 出力しません。 1: 出力します。
503	TCG REGEN	0000 0001 0002	TC&UB TC UB	TCG (タイムコードジェネレータ) がREGENモードの時、REGENする信号を選択します。 0: タイムコード、ユーザービット共にREGENします。 1: タイムコードのみREGENします。 2: ユーザービットのみREGENします。
504	REGEN MODE	0000 0001 0002 0003	AS&IN ASSEM INSRT SW	本機のコントロールパネルを使用した自動編集で、タイムコードをREGENするかどうかを選択します。 0: アセンブルまたはインサート編集でREGENします。 1: アセンブル編集でREGENします。 2: インサート編集でREGENします。 3: REGEN/PRESETスイッチに従います。
505	EXT TC SEL	0000 0001	LTC VITC	外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します 0: TIME CODE IN端子のLTC を使用します。 1: ビデオ信号のVITCを使用します。

— は工場出荷モードです。

USERメニュー

< TIME CODE > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
506	BINARY GP	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	000 001 010 011 100 101 110 111	TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。 0：NOT SPECIFIED (キャラクタセットを指定しない) 1：ISO CHARACTER (ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット) 2：UNASSIGNED 1 (未定義) 3：UNASSIGNED 2 (未定義) 4：UNASSIGNED 3 (未定義) 5：PAGE/LINE 6：UNASSIGNED 4 (未定義) 7：UNASSIGNED 5 (未定義)
507	PHASE CORR	0000 0001	OFF ON	TCGで発生するLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。 0：位相補正コントロールは行いません。 1：位相補正コントロールを行います。
508	TCG CF FLAG	0000 0001	OFF ON	TCGのCFフラグをONするかどうかを選択します。 0：CFフラグをOFFします。 1：CFフラグをONします。
509	DF MODE	0000 0001	DF NDF	CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。 0：ドロップフレームモード 1：ノンドロップフレームモード <ノート> DF MODEはLOCALまたは項目004のLOCAL ENAが「ENA」の時有効です。
511	TC OUT REF	0000 0001	V OUT TC_IN	TC INT/EXT SWが「EXT」の時、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切換えます。(EEモード時のみ) 0：出力映像に合わせます。 1：外部タイムコード入力に合わせます。
512	VITC OUT	0000 0001	SBC VAUX	出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。 0：記録時 セットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) の設定およびTC INT/EXTスイッチで選択された入力タイムコードをVITCとして出力します。 再生時 SBC領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 1：記録時 入力ビデオ信号より検出されたタイムコードをVITCとして出力します。 再生時 VAUX領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 <ノート> 入力ビデオ信号より検出されたタイムコードは、映像が記録される際、自動的にVAUX領域に記録されます。

— は工場出荷モードです。

用語説明

- SBC (Sub Code Data) 領域：
ヘリカルトラック上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域であり、SMPTE/EBUに準拠したタイムコード、記録日時などのテープ管理情報が格納されます。従来のLTC (Linear Time Code) と同様に巻き戻し、早送り時にもタイムコードを読むことが可能であり、またテープ停止時でも読み出し可能です。
- VAUX (Video Auxiliary Data) 領域：
ヘリカルトラック上の映像データ領域内に存在する領域であり、映像データに関連する付加情報が格納されます。

セットアップメニュー

USERメニュー

< VIDEO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
600	PB/PR IN LV	0000 0001	MII B-CAM	コンポーネント入力信号のレベルを選択します。 0 : MIIレベル 1 : -camレベル
601	INT BB SIG	0000 0001	OFF BB	内蔵のブラックバースト信号を発生させるかどうかを選択します。 0 : 発生させません。 1 : 発生させます。
602	INPUT C KILL	0000 0001	B/W AUTO	ビデオ入力信号のカラーキラー処理を選択します。 0 : 強制的にB/W処理を行います。 1 : 自動処理を行います。
603	OUT VSYNC	0000 0001	N-VF VF	EE/記録/編集の際に、映像出力の位相を入力に合わせるため、映像出力のVシンク位置をフロートさせるかどうかを選択します。 0 : フロートさせません。 1 : フロートさせます。
604	V-MUTE SEL	0000 0001	N-MUTE LOW RF	再生中にテープのブランク（空白）部分が検出された場合、ビデオ出力信号をミュートするかどうかを選択します。 0 : ミュートしません。（フリーズします。） 1 : ミュートします。（灰色にします。）
605	CC (F1) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第1フィールドのクローズドキャプチャ信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
606	CC (F2) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第2フィールドのクローズドキャプチャ信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
608	FREEZE SEL	0000 0001	FIELD FRAME	静止画面のフリーズ状態を選択します。 0 : フィールドフリーズ 1 : フレームフリーズ <ノート> フレームフリーズを選択した場合はスロー時もフレームスローになります。
610	OUT C KILL	0000 0001	B/W COLOR	ビデオ出力信号のクロマのカラーキラー処理を選択します。 0 : 強制的にB/W処理を行います。 1 : 自動処理を行います。
611	EDH	0000 0001	OFF ON	シリアルアウトにEDHを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。 <ノート> シリアルオプション装着時のみ有効です。
617	INTER- POLATE	0000 0001	OFF AUTO	スロー再生時は自動的に垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減しますが、本設定によりインターポーレーション動作を強制的にOFFすることができます。 0 : 強制的にOFFします。 1 : スロー再生時、自動的にONします。

___ は工場出荷モードです。

USERメニュー

<VIDEO> (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
650	SER IN MODE	0000 0001	MANU AUTO	シリアル入力モードを選択します。 0：フロントパネルのINPUT SELECTスイッチに従います。 1：シリアル入力信号に応じて、自動でSDTIかSDI信号かを選択します。フロントパネルのINPUT SELECT表示は入力信号に応じて自動で切り替わります。 <ノート> SDTI/SDIインターフェースボードAJ-YAC850P装着時のみ有効です。
652	SER OUT1 SEL	0000 0001 0002	SDI SDTI AUTO	シリアル出力1に出力する信号を選択します。 0：SDI信号を出力します。 1：SDTI信号を出力します。 2：DVCPROテープ再生、EEモード時はSDTI信号を出力します。DV再生時はSDI信号を出力します。 <ノート> SDTI/SDIインターフェースボードAJ-YAC850P装着時のみ有効です。

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< AUDIO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
700	CH1 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力 (CH1) の基準レベル切換えを選択します。
701	CH2 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力 (CH2) の基準レベル切換えを選択します。
702	CUE IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB - 20dB - 60dB	CUE入力の基準レベル切換えを選択します。
703	CH1 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力 (CH1) の基準レベル切換えを選択します。
704	CH2 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力 (CH2) の基準レベル切換えを選択します。
705	CUE OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	CUE出力の基準レベル切換えを選択します。
706	MONIL OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオモニター出力 (Lch) の基準レベル切換えを選択します。
707	MONIR OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオモニター出力 (Rch) の基準レベル切換えを選択します。
708	MONI OUT	0000 0001	UNITY VAR	オーディオモニター出力のUNITY/VARIABLE基準切換えを選択します。 0 : 既定値にて出力します。 1 : ヘッドホンVRに連動します。
709	EMPHA- SIS	0000 0001	OFF ON	エンファシスのON/OFFを設定します。
710	CH1 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH1入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル
711	CH2 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH2入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル
712	DIGI IN SEL	0000 0001 0002	AES SIF1_2 SIF3_4	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH1およびCH2のデジタル入力を選択します。 0 : AES 1 : シリアルI/F 1、2 2 : シリアルI/F 3、4 < ノート > 選択項目1、2はシリアルオプション装着時に選択します。

___ は工場出荷モードです。

USERメニュー

< AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
713	MONI CH SEL	0000 0001 0002	MANU AUTO1 AUTO2	モニター出力の選択を行います。 0: MONITOR SELECTで選択されているものを出力 します。 1: - 0.43倍速から+1倍速の範囲はPCM AUDIO、そ れ以外は自動的にCUEを出力します。 2: PLAYモードはPCM AUDIO、それ以外は自動的に CUEを出力します。 <ノート> 前面のMONITOR SELECTスイッチのL/RがCH1また はCH2を選択している場合、有効です。 (CUEを選択している場合は上記メニュー設定に関係な く全てのスピードにおいてCUEが出力されます。)
714	REC CH1	0000 0001 0002	CH1 CH2 CH1+2	オーディオのCH1トラックに記録する入力を選択します。 0: オーディオ入力のCH1 1: オーディオ入力のCH2 2: オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号
715	REC CH2	0000 0001 0002	CH1 CH2 CH1+2	オーディオのCH2トラックに記録する入力を選択します。 0: オーディオ入力のCH1 1: オーディオ入力のCH2 2: オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号
716	REC CUE	0000 0001 0002 0003	CUE CH1 CH2 CH1+2	CUEに記録する入力信号を選択します。 0: CUE入力 1: セットアップメニューNo.714で選択された信号が 記録されます。 2: セットアップメニューNo.715で選択された信号が 記録されます。 3: セットアップメニューNo.714とNo.715で選択さ れた信号のミックス信号が記録されます。
718	DV OUTPUT	0000 0001 0002	ST1 ST2 ST1+2	DVフォーマット再生時、AUDIO CH1、CH2の出力を 選択します。 0: CH1トラックをCH1に、CH2トラックをCH2に 出力します。 1: CH3トラックをCH1に、CH4トラックをCH2に 出力します。 2: CH1トラックとCH3トラックのミックスをCH1に、 CH2トラックとCH4トラックのミックスをCH2 に出力します。 <ノート> DVフォーマットの4ch記録済テープの再生時のみ有効です。
719	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	再生時に音声編集点 (IN点、OUT点) の処理をどのよう に行うかを選択します。 0: 記録時の状態に従う。 1: 強制CUT 2: 強制FADE
720	EMBEDDED AUD	0000 0001	OFF ON	シリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを 選択します。 0: 重畳しません。 1: 重畳します。 <ノート> シリアルオプション装着時のみ有効です。
722	INT SG	0000 0001	OFF ON	オーディオ入力信号に、内部信号を使用するかどうかを 選択します。 0: 内部信号を選択しません。 1: 内部信号を選択します。 <ノート> 内部信号は、1kHzです。

— は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
723	DV PB ATT	0000 0001	OFF ON	DVフォーマット再生時のオーディオ出力レベルを選択します。 0：オーディオ出力レベルをアッテネートしません。 1：オーディオ出力レベルをアッテネート(低減)します。 <ノート> カセットテープのサイズによって、設定は以下のようになります。 1. Lカセット使用時 セットアップメニューNo.108 (FORMAT SEL) が「DV」を選択している時のみ、本設定が有効になります。 2. Mカセット使用時 本設定は無効になります。 3. Sカセット使用時 本設定は有効になります。
724	MONI SEL INH	0000 0001	OFF ON	フロントパネルのMONITOR SELECTボタンおよびMONITOR SETボタン操作の許可/禁止を選択します。 0：操作が可能になります。 1：操作が禁止されます。
725	CUE SLOW	0000 0001	STEP LINEAR	SLOW再生時のテープ走行状態 (CUEトラック再生状態) を選択します。 0：出力画を優先し、STEP送りを行います。 1：CUEトラック再生を優先し、LINEARに走行します。 <ノート> 1 (LINEAR) に設定した場合、 ● STEPモードのようなきれいな画像にならない場合があります。 ● CTLカウンタは正常に動作しない場合があります。
726	CUE OUT	0000 0001	NORMAL DIRECT	CUE OUT端子からの出力を選択します。 0：出力画にタイミングを合わせます。 1：テープ上に記録されたものを遅延なしで出力します。 <ノート> 1 (DIRECT) 設定時は、出力画とCUE出力のタイミングは合いません。
727	MONI MIX L	0000 0001	OFF CH1+2	ヘッドホンモニターにミックス信号を選択できます。 0：ミックスしません。 1：CH1/CH2をミックスしてLchに出力します。
728	MONI MIX R	0000 0001	OFF CH1+2	ヘッドホンモニターにミックス信号を選択できます。 0：ミックスしません。 1：CH1/CH2をミックスしてRchに出力します。
729	REC PT MUTE	0000 0001	OFF ON	DVフォーマット再生時、記録の継ぎ目でオーディオをミュートするかどうかを選択します。 0：ミュートしません。 1：ミュートします。
730	CUE OUT SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、本線系出力にCUEを出力するかを選択します。 0：CUEを出力しません。 1：CUEを出力します。 [ただし、セットアップメニューNo.713 (MONI CH SEL) でMANU以外を選択した場合に限ります。]

— は工場出荷モードです。

USERメニュー

< V BLANK >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
800	ADD LINE	0000	OFF	記録する追加ラインのモードを選択します。 0：追加ラインを記録しません。 1：入力信号を422モードで1ライン記録します。 2：入力信号を411モードで1ライン記録します。 3：入力信号をそのまま輝度信号として1ライン記録します。 4：入力信号をY/C分離し、輝度信号のみを1ライン記録します。 5：入力信号をY/C分離し、クロマ信号のみを1ライン記録します。 6：入力信号をそのまま輝度信号として2ライン記録します。 7：入力信号をY/C分離し、輝度信号のみを2ライン記録します。 8：入力信号をY/C分離し、クロマ信号のみを2ライン記録します。 < ノート > ● 1～8を選択し、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。 ● 記録する追加ラインのモードにより、テレテキストの記録可能なライン数が異なります。
		0001	YC422	
		0002	YC411	
		0003	Y1_B/W	
		0004	Y1_BPF	
		0005	C1	
		0006	Y2_B/W	
		0007	Y2_BPF	
		0008	C2	
サブ画面				
00	REC LINE1	0000	10L	記録する追加ラインを選択します。
		ゝ	ゝ	
		0012	22L	
		0013	263L	
		0014	273L	
		ゝ	ゝ	
		0025	284L	
		0026	525L	
01	REC LINE2	0000	10L	記録する追加ラインを選択します。 < ノート > 追加ラインのモードが1～5に設定されている場合は、表示されません。
		ゝ	ゝ	
		0012	22L	
		0013	263L	
		0014	273L	
		ゝ	ゝ	
		0016	275L	
		ゝ	ゝ	
0025	284L			
0026	525L			

— は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< V BLANK > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
802	TELETEXT SEL	0000 0001	MOJI NABTS	記録するテレテキスト信号の種類を選択します。 0 : MOJI方式 1 : NABTS方式
803	TELETEXT DET	0000 0001 0002	OFF AUTO MANU	テレテキスト信号を記録するラインの検出方法を選択します。 0 : テレテキスト信号を記録しません。 1 : テレテキスト信号を自動的に検出し記録します。 2 : テレテキスト信号を記録するラインを選択し設定します。 < ノート > <ul style="list-style-type: none"> • 1 (AUTO) 設定時、セットアップメニューNo.800 (ADD LINE) の設定によって、すべてのラインが記録できない場合があります。 • 2 (MANU) 設定時、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。 • 記録できるライン数はセットアップメニューNo.800 (ADD LINE) の設定によって異なります。
サブ画面				
00	REC LINE 1	0000	OFF	テレテキスト信号の記録するラインを選択します。
:	:	0001	10 & 273	工場出荷モード REC LINE 1 : OFF
:	:	0002	11 & 274	REC LINE 2 : OFF
:	:	0003	12 & 275	REC LINE 3 : OFF
:	:	0004	13 & 276	REC LINE 4 : OFF
:	:	0005	14 & 277	REC LINE 5 : OFF
:	:	0006	15 & 278	REC LINE 6 : OFF
:	:	0007	16 & 279	REC LINE 7 : OFF
:	:	0008	17 & 280	REC LINE 8 : OFF
:	:	0009	18 & 281	REC LINE 9 : OFF
:	:	0010	19 & 282	REC LINE 10 : OFF
:	:	0011	20 & 283	REC LINE 11 : OFF
:	:	0012	21 & 284	REC LINE 12 : OFF
12	REC LINE 13	0013	22	REC LINE 13 : OFF

___ は工場出荷モードです。

USERメニュー

<V BLANK> (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
804	BLANK LINE	0000 0001 0002	BLANK THRU MANU	ビデオ信号の垂直ブランキング期間のブランキングON/OFFを選択します。 0：全ライン強制ブランキングします。 1：全ラインブランキングしません。 2：各ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。 <ノート> 2 (MANU) 設定時、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。
サブ画面				
00	LINE 10&273	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
01	LINE 11&274	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
02	LINE 12&275	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
03	LINE 13&276	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
04	LINE 14&277	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
05	LINE 15&278	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
06	LINE 16&279	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
07	LINE 17&280	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
08	LINE 18&281	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
09	LINE 19&282	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
10	LINE 20&283	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
11	LINE 21&284	0000 0001	BLANK THRU	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< MENU >

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
A00	LOAD	0000 0001 0002 0003	USER2 USER3 USER4 USER5	<p>USER1へロードするユーザーファイルの選択します。</p> <p>0 : USER2の内容をロードします。 1 : USER3の内容をロードします。 2 : USER4の内容をロードします。 3 : USER5の内容をロードします。</p> <p>< ノート > ロード操作を行った後、SETボタンを押すと設定値が記憶されます。MENUボタンを押すと設定値は変更されません。</p>
A01	SAVE	0000 0001 0002 0003 0004	USER2 USER3 USER4 USER5 LOCKED	<p>USER1の設定をセーブするユーザーファイルの選択します。</p> <p>0 : USER2へセーブします。 1 : USER3へセーブします。 2 : USER4へセーブします。 3 : USER5へセーブします。 4 : すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合の表示します。</p> <p>< ノート ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。 ● すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となりセーブ操作はできません。
A02	P.ON LOAD	0000 0001 0002 0003 0004	OFF USER2 USER3 USER4 USER5	<p>電源投入時に、選択したユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動します。</p> <p>0 : 前回設定したユーザーファイルで起動します。 1 : USER2の内容をUSER1へロードし起動します。 2 : USER3の内容をUSER1へロードし起動します。 3 : USER4の内容をUSER1へロードし起動します。 4 : USER5の内容をUSER1へロードし起動します。</p>
A03	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	<p>ユーザーファイル (USER2 ~ USER5) のロックモードの設定 / 解除を選択します。</p> <p>0 : ロック解除 (変更可能) 1 : ロック設定 (変更禁止)</p> <p>< ノート > USER1のロック設定はできません。</p>

___ は工場出荷モードです。

< ノート >

- No.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE)、No.A02 (P.ON LOAD) はUSER1のみ設定可能な項目です。USER2 ~ USER5では表示されません。
- No.A03 (MENU LOCK) はUSER2 ~ USER5のみ設定可能な項目です。USER1では表示されません。

タイムコード/ユーザービットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレータ（タイムコード信号発生器）によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダ（タイムコード信号読取器）でその値を読み取り、テープの絶対位置を時:分:秒:フレーム単位で表示するときに使用します。

タイムコードはヘリカルトラックのサブコード領域（データ領域）へ書き込まれます。このために、タイムコードだけ独立してインサート編集が行えます。また、VTRの再生速度が停止モード スロー再生 高速再生（約100倍速）まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24

時 分 秒 フレーム

ユーザービット

ユーザービットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット（8桁）の情報枠のことです。オペレータナンバーなどを記録することができます。

ユーザービットに使用できる数字（文字）は 0～9とA B C D E Fです。

<ノート>

テープ再生時のタイムコード/ユーザービット管理は、SBC領域に記録されているデータで行われます。すなわち、ディスプレイやスーパーインポーズに表示されるデータ、編集コントロールなどへの通信データは、すべてSBC領域に記録されているデータで行われます。

内部/外部タイムコードの記録

1 内部タイムコードの設定

1 VTRを停止モードにします。

2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。

3 TC INT/EXTスイッチを「INT」にします。(内部タイムコードの選択)

4 REC RUN/FREE RUNスイッチの設定

REC RUN : 記録と同時にタイムコードが歩進します。

FREE RUN : VTRの動作にかかわらず、時刻と同じように歩進します。

5 REGEN/PRESETスイッチの設定

REGEN : 編集前の下地のTCの連続性を保ちます。

(メニュー設定で、詳細な設定もできますので参考してください。)

セットアップメニューNo.503 (TCG REGEN)

セットアップメニューNo.504 (REGEN MODE)

PRESET : TC SETボタンで設定された値から記録を開始します。

• 自動編集時はPRESETの位置でもメニューNo.504の設定によりREGENします。

6 TC SETボタンの設定

TC SETボタンを使ってタイムコード/ユーザービットの開始番号を設定します。

1. SHIFTボタンを押します。

左端の桁が点滅します。

2. ADJボタンを押して値を変更します。

押すたびに、番号は変化します。設定範囲は次のとおりです。

• タイムコード

00:00:00:00 - 23:59:59:29

• ユーザービット

00 00 00 00 - FF FF FF FF

3. ステップ1と2を繰り返して、値を変更します。

4. 開始番号の設定が終わると、STARTボタンを押します。

「FREE RUN」モードの場合には、タイムコードを歩進します。

5. 記録または編集を行います。

2 外部タイムコードの設定 (TC SW EXT)

1 VTRを停止モードにします。

2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。

3 TC INT/EXTスイッチを「EXT」にします。(外部タイムコードの選択)

4 セットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) で以下の設定ができます。

LTC : 後面ジャック板TIME CODE IN端子 (XLR) に入力されるLTC信号がTCとして記録されます。

<ノート> LTCはビデオ信号と同期している必要があります。

VITC : 入力ビデオ信号のVITCがTCとして記録されます。

タイムコード/ユーザービットの再生

- 1 STOPモードにします。
- 2 TC/CTLボタンを「TC」にします。
- 3 TC/UB スイッチを「TC」または「UB」にします。
TC：タイムコードが表示されます。
UB：ユーザービットが表示されます。
 - タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTLで補間します。
- 4 PLAYボタンを押します。
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
セットアップメニューNo.006 (SUPER) が「ON」の場合、VIDEO OUT 3端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

<ノート>

- ドロップフレームタイムコードを読んでいる時は、秒とフレームの間のコロンがピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如したときにはCTL信号で自動的に補います。
ディスプレイは以下ようになります。

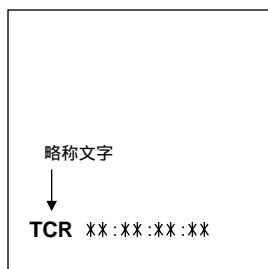
T*R 00:01:04:07

タイムコード信号が欠如した時*表示になります。

ドロップフレームの時は、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

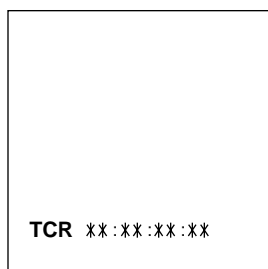


- CTL (コントロール信号)
- TCR (TCタイムコードの再生値)
- UBR (TCユーザービットの再生値)

モニターテレビ

表示文字

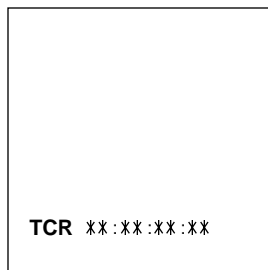
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.007 (CHARA TYPE) で文字の背影を変えることができます。



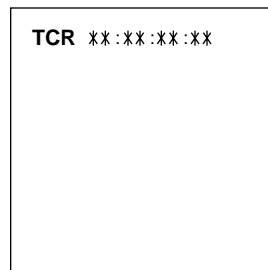
モニターテレビ

表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニューNo.001 (CHARA H-POS) とセットアップメニューNo.002 (CHARA V-POS) で変えることができます。



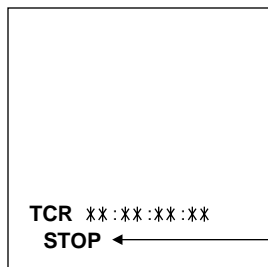
モニターテレビ



モニターテレビ

動作モード

セットアップメニューNo.003 (DISPLAY SEL) でVTRの動作モードも表示されます。



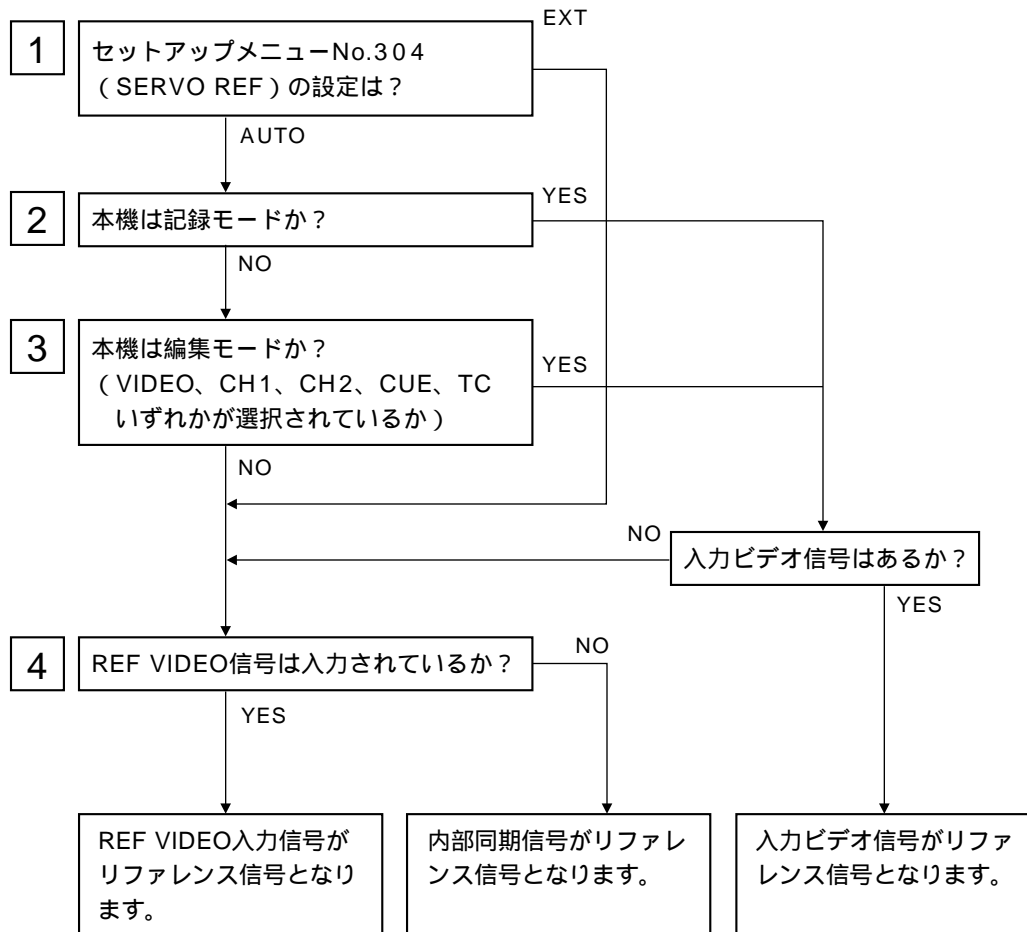
VTR動作モード

モニターテレビ

サーボリファレンス

本機はサーボ用のリファレンス（基準）信号としてINPUTスイッチで選択した入力ビデオ信号、REF VIDEO入力端子より入力したリファレンスビデオ信号、またはINTのいずれかを自動的に選択します。

選択の時は下記のフローチャートのように、本機のモードとサーボリファレンスの設定が関係します。



サーボリファレンス

サーボリファレンス設定表

サーボリファレンス信号は、サーボリファレンス、デッキのモードおよび入力信号の有無に応じて、下表のように切換えられます。再生および記録でのリファレンス（基準）が一致していないと、編集および記録再生のモード移行時、画像が乱れたり、移行が遅れたりすることがあります。

再生または特殊再生時

セットアップメニュー No.304 (SERVO REF) の位置	入力信号の状態		リファレンス信号 (サーボ基準)
	VIDEO IN信号	REF IN信号	
AUTO			REF IN信号
		×	内部同期信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT			REF IN信号
		×	内部同期信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号

記録または編集時

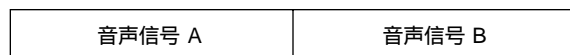
セットアップメニュー No.304 (SERVO REF) の位置	入力信号の状態		リファレンス信号 (サーボ基準)
	VIDEO IN信号	REF IN信号	
AUTO			VIDEO IN信号
		×	VIDEO IN信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT			REF IN信号
		×	内部同期信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号

は信号が入力されている。×は信号が入力されていない。

音声Vフェード機能

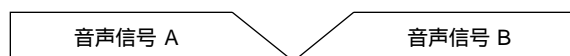
編集時、編集点の繋ぎ方の選択（セットアップメニューNo.309、310）の情報をテープ上に記録し、再生時にその情報を感知しその部分を自動的にVフェード/カット処理します。（ただし、再生フェード選択（No.719）がAUTOの場合）

編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.309、No.310)がCUTの場合



↑
編集の繋ぎ目でノイズがでます。

編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.309、No.310)がFADEの場合



↑
瞬間的にVフェードにして、ノイズを消します。

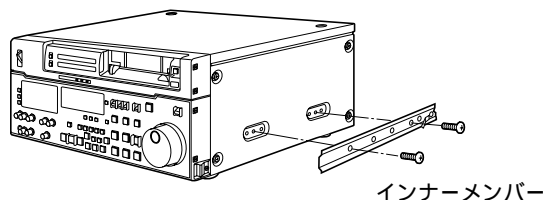
< ノート >

- 再生フェード選択（No.719）がCUTの場合、全ての繋ぎ目がCUTになります。
- 再生フェード選択（No.719）がFADEの場合、全ての繋ぎ目がVフェードします。

ラックマウント

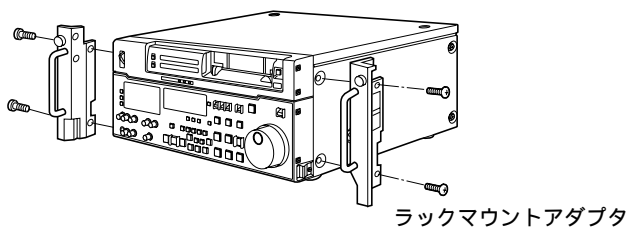
本機はラックマウントアダプタAJ-MA75P（別売品）をご使用になりますと19インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。取り付けレールは、摂津金属工業（株）製18インチレール（品番C-305-18）とブラケット（品番RBA2-35）を使用することをお薦めします。詳しくは購入店にご相談ください

- 1 スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。
ネジ止め箇所は下図を参照してください。

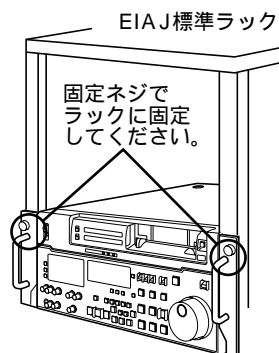


使用するネジは、長さ制限があります。長さ10ミリ以下のものをご使用ください。
インナーメンバーは、必ず4個ネジ止めしてください。

- 2 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。
左右の高さが同じであることを確認してください。
- 3 左右の側板を取りつけるフロント側のビス4本を外します。
- 4 AJ-MA75Pに付属のビス4個でラックマウントアダプタAJ-MA75Pを取り付けます。



- 5 本機底面のゴム足（4ヶ所）を外し、本機をラックに取り付けます。
本機取り付け後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



< ノート >

- ラック内の温度は5 ~ 40 に保ってください。
- VTR を引き出したとき倒れないようにラックはしっかりと床にボルトで固定してください。

コネクタの信号

VIDEO IN

SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 2	アクティブスルー (オプション)
Y、PB、PR (ANALOG)	BNC × 3	
VIDEO IN	BNC × 2	ループスルー 75Ω終端スイッチ付
REF VIDEO IN	BNC × 2	ループスルー 75Ω終端スイッチ付

VIDEO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3	(オプション)
Y、PB、PR (ANALOG)	BNC × 3	
VIDEO OUT	BNC × 3	

AUDIO IN

SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 2	(オプション)
AUDIO IN (DIGITAL)	XLR × 2	CH1/CH2 AES/EBU フォーマット
AUDIO IN (ANALOG)	XLR × 2	CH1、CH2
CUE IN	XLR × 1	
TIME CODE IN	XLR × 1	

ピンNo.	内容
1	GND
2	HOT
3	COLD

AUDIO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3	(オプション)
AUDIO OUT (DIGITAL)	XLR × 2	CH1/CH2 AES/EBU フォーマット
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR × 2	CH1、CH2
CUE OUT	XLR × 1	
TIME CODE OUT	XLR × 1	
MONITOR OUT	XLR × 2	L (CH1)/R (CH2)
HEADPHONES (フロント) M6		

RS-422A REMOTE (9P)

REMOTE IN/OUT

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	RECEIVE COMMON	7	TRANSMIT B
2	TRANSMIT A	5	—————	8	RECEIVE A
3	RECEIVE B	6	TRANSMIT COMMON	9	FRAME GROUND

REMOTE OUT

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	TRANSMIT COMMON	7	RECEIVE B
2	RECEIVE A	5	—————	8	TRANSMIT A
3	TRANSMIT B	6	RECEIVE COMMON	9	FRAME GROUND

コネクタの信号

PARALLEL REMOTE (25P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	PLAY COMMAND	10	—————	19	STAND BY ON STATUS
2	STOP COMMAND	11	—————	20	PREROLL STATUS
3	FF COMMAND	12	+10V以上、MAX 300mA	21	SERVO LOCK STATUS
4	REW COMMAND	13	PLAY STATUS	22	OPERATION ENABLE STATUS
5	REC COMMAND	14	STOP STATUS	23	—————
6	EJECT COMMAND	15	FF STATUS	24	—————
7	STAND BY COMMAND	16	REW STATUS	25	GND
8	PREROLL COMMAND	17	REC STATUS		
9	IN SET COMMAND	18	EJECT STATUS		

< ノート >

- COMMANDはTTLレベル、アクティブLOW エッジは100msec以上の電気信号を入力してください。
- STATUSはオープンコレクタ、シンク電流はMax.6mAで出力されます。

RS-232C REMOTE (D-SUB 25ピン、クロスケーブル対応)

ピンNo.	略号	回路名称	内容
1	FRAME GROUND	保安用接地	フレームグランド
2	RxD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TxD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	GND	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データセットレディ	通信可能状態後正電力出力

ENCODER REMOTE (15P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	—————	6	SYSTEM H 0	11	RET GND
2	SET UP	7	SYS. SC COARSE (2)	12	—————
3	C LEVEL	8	-12V	13	—————
4	GND	9	HUE	14	SYS. SC FINE
5	+12V	10	VIDEO LEVEL	15	SYS. SC COARSE (1)

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能がついていますが、より信頼性を高めるために適時ビデオヘッドを清掃することをお薦めいたします。
なお、具体的なクリーニング方法についてはサービス会社または販売会社にご相談ください。

結露

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気がたちこもる湿度の多いところや暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このような所へ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したまでお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、AUTO OFFランプが点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で、AUTO OFFランプが消えるまでお待ちください。

お手入れについて

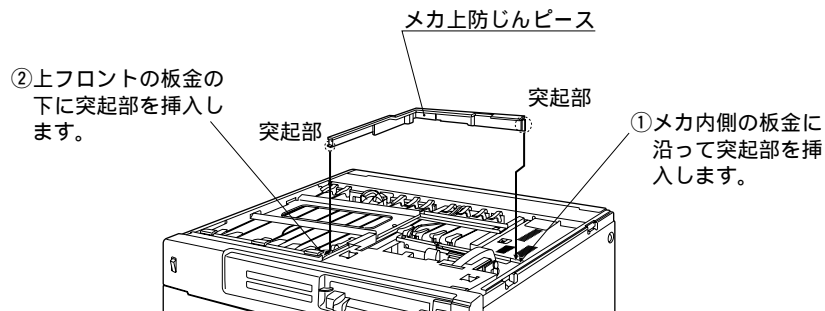
お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどい時は、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

< ノート >

アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面が変色したり、塗装が落ちたりする原因になります。

メカ上防じんピースの取り付け方法



エラーメッセージ

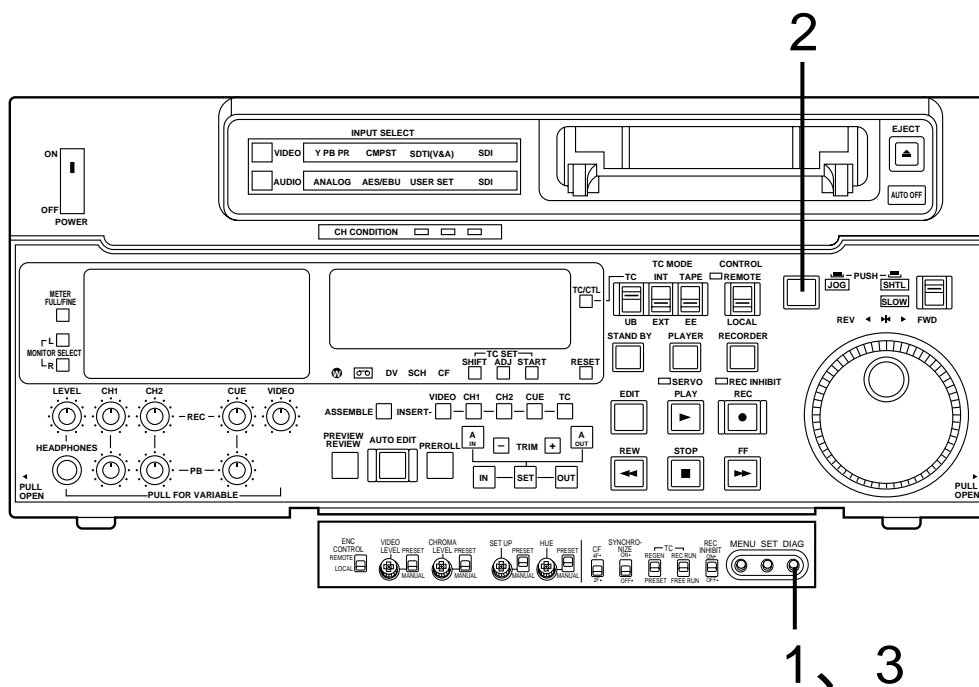
本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯します。
ダイアグメニューを開くとカウンタ表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、
本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFFランプが点灯し、カウンタ表示部にメッセージを
表示します。

ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。
VTRの情報にはワーニング情報とアワーメータ（使用時間）情報があります。モニターテレビと
コネクタ部のVIDEO OUT 3端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが
出ます。

ダイアグメニューの表示

- 1 DIAGボタンを押します。
モニターテレビにダイアグメニューの画面が、カウンタ表示部にメッセージがそれぞれ
表示されます。
- 2 サーチボタンを押すたびに、ワーニング情報とアワーメータ情報の表示が切り替わります。
- 3 再度DIAGボタンを押すと元の表示に戻ります。



ワーニング情報の表示

- ワーニング発生（ワーニングランプ点灯）時は、ワーニングメッセージを表示します。ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。

アワーメータ情報の表示

サーチダイヤルを回すと、カーソル(＊)が移動し、カーソルのある項目の内容をカウンタ表示部に表示します。

項目No.	項目	内容
H00	OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01	DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02	TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03	THREADING	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。
H11	DRUM RUN r	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H12	TAPE RUN r	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H13	THREADING r	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。(リセット可能)
H30	POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

< ノート >

- アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。
- ダイアグメニュー表示中は、サーチボタンおよびサーチダイヤルによる操作はできなくなります。

セットアップメニューNo.003 (DISPLAY SEL) でT&S&Mが選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は優先順位の高いものが表示されます。

優先順位	表示	内容
高い ▲ ↓ ▼ 低い	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機の動作に異常が発生するとAUTO OFFランプが点灯し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG	セットアップメニューNo.601 (INT BB SIG) で「BB」が選択されている場合、またはセットアップメニューNo.722 (INT SG) で「ON」が選択されている場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	NO INPUT	アナログオーディオを除き、INPUT SELECTスイッチにより選択されている端子に入力信号が無い場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	ワーニングメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

エラーメッセージ

ワーニングメッセージ

優先順位	カウンタ表示部およびモニターテレビの表示	内容	VTRの動作
高い ▲ ↓ 低い	UNKNOWN SIG	SDTI入力信号が、DVCPRO/DVフォーマットでない場合に表示されます。	記録動作不可
	NOT 1×25M SIG	SDTI入力信号が、DVCPRO(25Mbps)フォーマットの1倍速転送信号でない場合に表示されます。	記録動作不可
	INVALID VIDEO SIG	SDTI入力信号の圧縮ビデオ信号が、不正規な場合に表示されます。	動作継続*1 編集動作不可
	INVALID AUDIO SIG	SDTI入力信号のオーディオ信号が、不正規な場合に表示されます。	動作継続*2 編集動作不可
	INVALID TC SIG	SDTI入力信号のタイムコードが、不正規な場合に表示されます。	動作継続*3 編集動作不可
	FAN STOP	ファンモータが停止した場合に表示します。	動作継続
	SERVO NOT LOCKED	再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合に表示します。	動作継続
	LOW RF	再生、記録、編集時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合に表示します。	動作継続
	HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった場合に表示します。	動作継続
	OVER RECORDING	内蔵のオーディオメモリーを用いて、ヴォイスオーバー編集を行う場合は、メモリーへ記録する時間が20秒を超えたときに表示します。	動作継続

*1 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、テープへの記録は行われず消去作業のみが行われます。

*2 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、オーディオはミュート記録されます。

*3 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、内部発生されたタイムコードが記録されます。

エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯)

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR(処置)の動作
CAP ROTATE TOO SLOW	CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
CAP TENSION ERROR	CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
DEW	DEW	結露を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。 結露が解除されると、「AUTO OFF」ランプ、メッセージ表示が消えVTRは使用可能となります。 • EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 • カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。	EJECT
DRUM ROTATE TOO FAST	DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
DRUM ROTATE TOO SLOW	DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E-FF	E-FF	ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端及びテープ終端を同時に検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
FRONT LOAD ERROR	FRONT LOAD ERROR	ローディング途中 (ハーフポジション) の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、またはテープを引き出せなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
FRONT LOAD MOTOR	FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードへ移行します。	停止 (POWER OFF ON)
LOADING MOTOR	LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード (アンローディングモード) へ移行します。	停止 (POWER OFF ON)
REEL DIR UNMATCH	REEL DIR UNMATCH	巻き取り側のリールモータが逆転した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)

エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯)

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR(処置)の動作
REEL TENSION ERROR	REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
SERVO COMM ERROR	SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
SERVO CONTROL ERROR	SERVO CONTROL ERR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
SERVO ERROR	SERVO ERROR	瞬停等でサーボマイコンのみRESETがかかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
S-FF/REW TIMEOVER	S-FF/REW TIMEOVER	始末端処理動作が終了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
S REEL ROTA TOO FAST	S REEL TOO FAST	Sリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
S REEL TORQUE ERROR	S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
T REEL ROTA TOO FAST	T REEL TOO FAST	Tリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
T REEL TORQUE ERROR	T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
UNLOAD ERROR	UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
WINDUP ERROR	WINDUP ERROR	テープ総量未検出時の1倍速未満の速度においてテープが巻き取られなかった場合、またはテープ総量検出後、1倍速以上でテープの異常なたるみ、張りを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
WINDUP REEL NOT ROTA	W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態で1倍速以上のテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープ巻き取っていない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)

RS-232Cインターフェース

1. 概要

(1) RS-232Cインターフェースを使用することにより、コマンドによるVTR操作が可能になります。
(102～104ページのコマンド一覧をご参照ください。)

(2) RS-232Cインターフェースからのコマンド受け付け条件

フロントパネルのREMOTE/LOCAL SW : REMOTE

セットアップメニュー項目No.204「RS232C SEL」: ON

上記条件が成立していない場合は、外部に対して[ACK]+[STX] ER001 [ETX]の返答を行います。

[ACK]の返信をするかしないかは、セットアップメニュー項目No.209「RETURN ACK」の設定にしがいます。

2. ハードウェア仕様

外部インターフェース仕様

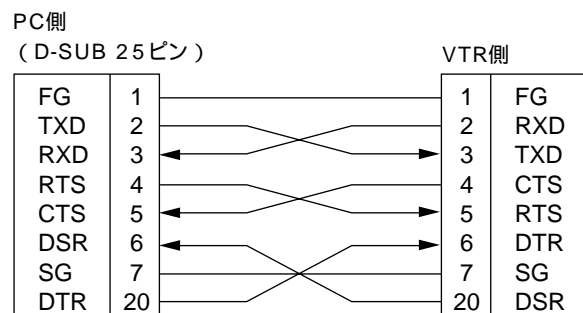
(1) 端子仕様

コネクタ : D-SUB 25ピン (クロスケーブル対応)

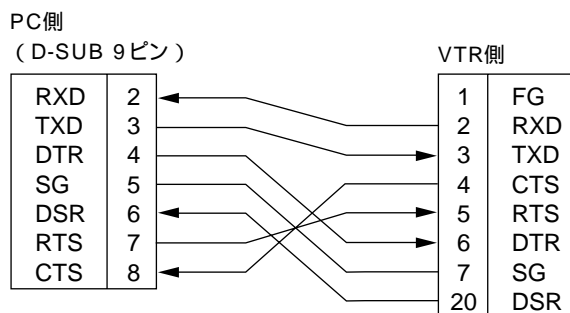
ピン配列	信号	回路名称	内容
1	FG	保安用接地	フレームグラウンド
2	RXD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TXD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	SG	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データ・セット・レディ	通信可能状態後正電圧出力

(2) コントローラ (PC) との接続例

(D-SUB 25ピン クロスケーブルを使用)



(D-SUB 9ピン - 25ピン クロスケーブルを使用)



RS-232Cインターフェース

3. ソフトウェア仕様

プロトコル

(1) 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7bit/8bit
ストップビット	1bit/2bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACKコード	ACKコードを返信しない/ACKコードを返信する <ノート> ACKコードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、VTR側からコントローラに対して返信するコードのことです。

工場出荷時の設定は、_____で示しています。

設定の変更は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通信条件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACKコード	No.209 RETURN ACK

(2) 送信フォーマット[コントローラ(PC) VTR]

データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]

02h XX XX XX 3Ah XX-XX 03h (ASCIIコード: 記号、数字、英大文字)

20h<XX<7Fh

- [command] : コマンド識別子です。
: コマンドとして3バイトの識別子 (ASCIIコード: 記号、数字、英大文字) を送信します。
- [:] : コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。
- [data] : 必要なバイト数のデータ (ASCIIコード: 記号、数字、英大文字) を付け加えることができます。

コントローラからの送信手順概略

1. 送信コマンドは、STX (START OF TEXT = 02h) で始まります。次に続くCOMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。
最後にETX (END OF TEXT = 03h) で終了します。
2. 新たに別のコマンドを送信する場合は、VTRからの応答を待ってから送信します。
(101ページ参照)
3. ETXを送信する前に再度STXを送信すると、VTR側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信したSTXを先頭として、新たにデータ処理を行います。

(3) 返信フォーマット[VTR コントローラ(PC)]

コマンド指示に対して、次の応答を行います。必要に応じて複数の応答を行うこともあります。

通信が正常終了した場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. 実行完了メッセージを返信します。

[STX] [command] [data] [ETX]
02h XX XX XX XX-XX 03h

- [command] : 返信するメッセージ(データ)または、実行完了のメッセージ識別子です。
- [data] : 返信するデータです。省略が可能です。
[example] : 送信コマンド 返信メッセージ(データ)
 [STX] OPL [ETX] [ACK] [STX] OPL [ETX]

通信が異常終了した場合

[NACK]
15h

間違ったデータまたは、VTRに異常があり処理できない場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. エラーコードを返信します。

[STX] E R N₁ N₂ N₃ [ETX]
02h エラーコード 03h

4. エラーコード一覧

ER001 : 無効コマンド

- 未対応コマンド受信
- コマンド実行エラー

ER002 : パラメータエラー

ER102 : VTRモードエラー(フロントローディングモータ)

ER103 : VTRモードエラー(ローディングモータ)

ER104 : VTRモードエラー(ドラム、キャプスタン系)

ER105 : VTRモードエラー(リール系)

ER106 : VTRモードエラー(テンション系)

ER108 : VTR DEWエラー

ER1FF : VTRシステムエラー

RS-232Cインターフェース

5. コマンド一覧

(1) 動作制御 (Operation) 関連コマンド

< ノート >

- 返信 (完了) メッセージは、データ受信時に[ACK]を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK]を返信後にER001 (無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
STOP	[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	テープ走行を停止するコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
EJECT	[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	カセットテープをイジェクトするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
PLAY	[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	再生を開始するコマンドです。
REWIND	[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	テープを巻き戻すコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	テープを早送りするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
REC	[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	録画を開始するコマンドです。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX]	[STX] OSF [ETX]	正方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL 1: ×0.03 (DVCPRO), ×0.03 (DV) 2: ×0.1 (DVCPRO), ×0.1 (DV) 3: ×0.2 (DVCPRO), ×0.3 (DV) 4: ×0.5 (DVCPRO), ×0.5 (DV) 5: ×1 (DVCPRO), ×1 (DV) 6: ×1.85 (DVCPRO), ×1.85 (DV) 7: ×4.1 (DVCPRO), ×3.1 (DV) 8: ×9.5 (DVCPRO), ×9.5 (DV) 9: ×16 (DVCPRO), ×16 (DV) : 本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。 A: ×32 (DVCPRO), ×32 (DV) : 本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。		
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX]	[STX] OSR [ETX]	逆方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL 1: ×0.03 (DVCPRO), ×0.03 (DV) 2: ×0.1 (DVCPRO), ×0.1 (DV) 3: ×0.2 (DVCPRO), ×0.3 (DV) 4: ×0.43 (DVCPRO), ×0.5 (DV) 5: ×1 (DVCPRO), ×1 (DV) 6: ×1.85 (DVCPRO), ×1.85 (DV) 7: ×4.1 (DVCPRO), ×3.1 (DV) 8: ×9.5 (DVCPRO), ×9.5 (DV) 9: ×16 (DVCPRO), ×16 (DV) : 本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。 A: ×32 (DVCPRO), ×32 (DV) : 本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。		
STANDBY OFF	[STX] OBF [ETX]	[STX] OBF [ETX]	VTRをスタンバイOFFにするコマンドです。
STANDBY ON	[STX] OBN [ETX]	[STX] OBN [ETX]	VTRをスタンバイONにするコマンドです。

RS-232Cインターフェース

(2) 問い合わせ (Question) 関連コマンド

< ノート >

- 返信 (完了) メッセージは、データ受信時に[ACK]を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK]を返信後にER001 (無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX]	[STX] CD data [ETX]	カウンター値を問い合わせるコマンドです。
		data = f w gh mm ss ff f = F w = S gh = CTL: g = SP (20h) : プラス時 - (2Dh) : マイナス時 h = 0 ~ 9 : 時 TC: gh = 00 ~ 23 : 時 mm = 00 ~ 59 : 分 ss = 00 ~ 59 : 秒 ff = 00 ~ 29 : フレーム	フロント表示モードに合わせてCTLかTCを返信します。
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX]	[STX] xxx [ETX]	VTRの動作モードを問い合わせるコマンドです。
		xxx = OEJ: EJECT OFF: FAST FORWARD OPL: PLAY ORC: REC ORW: REWIND OSP: STOP (STANDBY ON含む) SRS: (IN/OUT) PREROLL OBF: STANDBY OFF OSF: SHTL FORWARD OSR: SHTL REVERSE OJG: JOG FORWARD/REVERSE OSW: VAR FORWARD/REVERSE EAE: AUTO EDIT EON: EDIT ON (MANUAL EDIT) EPV: PREVIEW ERV: REVIEW	
ID(機器番号) REQUEST	[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX]	使用機器を問い合わせるコマンドです。
		data = AJ-D850	

(3) Microsoft QuickBASIC サンプルプログラム

```
CLS
STX$ = CHR$(&H2): ETX$ = CHR$ (&H3): NAK$ = CHR$(15): ACK$ = CHR$(&H6)
PRINT "*** RS-232C COMMUNICATION SAMPLE PROGRAM ***"
PRINT "Type Command 'QUIT' to quit."
PRINT

REM *** Communication Port Initial & Open ***
REM Port 1,9600Bps,No parity,8 bit data,1 stop bit
OPEN "COM1:9600,N,8,1" FOR RANDOM AS #1 LEN = 256

REM *** Input Command & Send Command ***
SendCmd:
INPUT "Input Command ="; SEND$
IF SEND$ = "QUIT" THEN GOTO ProgEnd
PRINT #1, STX$ + SEND$ + ETX$

REM *** Wait for Receive Command ***
WHILE LOC(1) = 0
    WAITKEY$ = INKEY$
    IF WAITKEY$ = "Q" THEN PRINT "*** Quit ***": GOTO ProgEnd
WEND

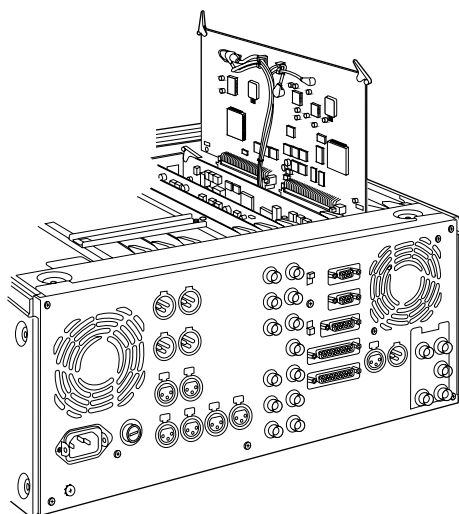
REM *** Receive Command ***
RecvCmd:
RCV$ = INPUT$(1, #1)
IF RCV$ = STX$ THEN RCV$ = "[Stx]"
IF RCV$ = ACK$ THEN RCV$ = "[Ack]"
IF RCV$ = NAK$ THEN RCV$ = "[Nak]"
IF RCV$ = ETX$ THEN BUFFER$ = BUFFER$ + "[EtX]": GOTO DispOut
BUFFER$ = BUFFER$ + RCV$
GOTO RecvCmd

REM *** Output Receive Command ***
DispOut:
PRINT "Receive Command ="; BUFFER$
PRINT
BUFFER$ = ""
GOTO SendCmd

REM *** End Program ***
ProgEnd:
CLOSE
END
```

*Microsoft QuickBASICはマイクロソフト社の商標です。

回路板



回路板	略称名	フルネーム	設定目的	初期設定
F8基板 ADDA1	SW1	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH1のAUDIO入力インピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	HIGH
	SW41	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH2のAUDIO入力インピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	HIGH
H2基板 CUE	SW101	CUE INPUT IMPEDANCE SW	CUE入力インピーダンスを設定します。 HIGH/600Ω	HIGH
F4基板	SW940	コンポーネント PB/PR出力レベル 切換SW	コンポーネント信号で、編集機と接続する 場合に設定します。 MII : MIIのレベル BETA : -CAMのレベル	BETA

定 格

[総合]

電源	AC100V, 50Hz/60Hz
消費電力	200W
動作周囲温度	5 ~ 40
動作周囲湿度	10% ~ 90% (結露なし)
重量	16.8Kg
外形寸法	424 (幅) × 175.2 (高さ) × 415 (奥行き) mm
記録フォーマット	DVCPROフォーマット
記録トラック	デジタル・ビデオ
	タイムコード : サブコード領域に記録
	デジタルオーディオ : 2 CH
	キュー信号 : 1トラック
	コントロール (CTL) : 1トラック
テープスピード	33.820mm/秒
記録時間	184分 (AJ-P184LP使用時)
	66分 (AJ-P66MP使用時)
使用テープ	1/4" 薄磁性層メタルテープ
FF/REW時間	3分以内 (AJ-P184LP使用時)
	2分以内 (AJ-P66MP使用時)
編集精度	±0フレーム (タイムコード使用時)
テープタイマー精度	±1フレーム (連続CTL信号使用時)
サーボロック時間	0.5秒以内 (カラーフレーミング/スタンバイON)

[ビデオ]

(デジタルビデオ)	サンプリング周波数	Y : 13.5MHz, Pb/Pr : 3.375MHz
	量子化	8bits
	エラー訂正	リードソロモンプロダクトコード
(デジタルIN/アナログ・コンポーネントOUT)	映像帯域	Y : 30Hz ~ 5.5MHz (± 0.5dB)、 5.75MHz (- 2dB) Pb, Pr : 30Hz ~ 1.3MHz (± 1dB)、 1.5MHz (- 5dB) Typ.
	S/N比	60dB以上
	Kファクター	1%以下
(アナログ・コンポーネントIN/コンポーネントOUT)	映像帯域	Y : 30Hz ~ 5.5MHz (± 1dB)、 5.75MHz (- 3dB) Pb, Pr : 30Hz ~ 1.3MHz (± 1dB)、 1.5MHz (- 6dB) Typ.
	S/N比	55dB以上
	Kファクター	1%以下
(アナログ・コンポジットIN/コンポジットOUT)	映像帯域	Y : 30Hz ~ 4.5MHz (± 1dB) Typ.
	DG	4%以下
	DP	3°以下
	Y/Cディレイ	20nsec以下
	Kファクター	2%以下
(入力端子)	アナログ・コンポーネント入力	BNC × 3 (Y, Pb, Pr) Y : 1.0Vp-p, 75Ω Pb, Pr : 0.525/0.757Vp-p切換え、75Ω (75%カラーバー、0%セットアップ)
	アナログ・コンポジット入力 リファレンス入力	BNC × 2、ループスルー、75Ω On/Off アナログ・コンポジット BNC × 2、ループスルー、75Ω On/Off
	シリアル・デジタル コンポーネント入力 (オプション)	SMPTE 259M-C規格に準拠 BNC × 2、アクティブスルー

定 格

(出力端子)	アナログ・コンポーネント出力	BNC × 3 (Y, P _B , P _R) Y : 1.0Vp-p、75Ω P _B , P _R : 0.525/0.757Vp-p切換え、75Ω (75%カラーバー、0%セットアップ)
	アナログ・コンポジット出力	BNC × 3 ビデオ1/ビデオ2/ビデオ3 (スーパーOn/Off)
	シリアル・デジタル コンポーネント出力 (オプション)	SMPTE 259M-C規格に準拠 BNC × 3
(ビデオ信号調整)	コンポジット・ビデオ入力信号	± 3dB
	ビデオ出力ゲイン	± 3dB
	ビデオ出力クロマ・ゲイン	± 3dB
	ビデオ出力ヒュー	± 30°
	ビデオ出力セットアップ	± 15IRE
	ビデオ出力シンク位相	± 15 μsec
	ビデオ出力SC位相	± 180°
ビデオ出力Y/Cディレー	± 300nsec	
[オーディオ] (デジタルオーディオ)	サンプリング周波数	48kHz
	量子化	16bits
	周波数特性	20Hz ~ 20KHz ± 1.0dB
	ダイナミックレンジ	90dB以上 (1kHz、エンファシス off、“A” weighted)
	歪率	0.05%以下 (1kHz、エンファシス off、基準レベル)
	クロストーク	- 80dB以下 (1kHz、2チャンネル間)
	ワウ&フラッター	測定可能値以下
	ヘッドルーム	20dB
	エンファシス	T1=50 μsec/T2=15 μsec (On/Off可)
(キュートラック)	周波数特性	300Hz ~ 6kHz ± 3dB
(入力信号)	アナログ入力 (CH1/CH2)	XLR × 2、600Ω/Highインピーダンス (切換可) + 4/0/ - 20dBu
	デジタル入力 (CH1/CH2)	XLR × 1、AES/EBUフォーマット
	シリアル・デジタル入力 (オプション)	SMPTE 259M-C、272M規格に準拠 (BNC、75Ω)
	キュートラック入力	XLR × 1、600Ω/Highインピーダンス (切換可) + 4/0/ - 20/ - 60dBu
(出力信号)	アナログ出力 (CH1/CH2)	XLR × 2、Lowインピーダンス、+ 4/0/ - 20dBu
	デジタル出力 (CH1/CH2)	XLR × 1、AES/EBUフォーマット
	シリアル・デジタル出力 (オプション)	SMPTE 259M-C、272M規格に準拠 (BNC、75Ω)
	キュートラック出力	XLR × 1、Lowインピーダンス、+ 4/0/ - 20dBu
	モニター出力 ヘッドホーン	XLR × 2、Lowインピーダンス、+ 4/0/ - 20dBu レベル可変、M6、8Ω
[その他入出力信号]	タイムコード入力	XLR × 1、0.5 ~ 8Vp-p
	タイムコード出力	XLR × 1、2.0Vp-p
	RS-422A入力	D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース
	RS-422A出力	D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース
	RS-232C (オプション)	D-sub 25pin、RS-232Cインターフェース
	パラレル入出力 エンコーダリモート	D-sub 25pin D-sub 15pin

松下電器産業株式会社 放送システム事業部

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161